

工 事 番 号							
設計年度	令和8年度		急傾斜地崩壊対策工事（笹原地区）  三原市 本郷町上北方  <div style="display: inline-block; border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 5px;">県費補助</div> <div style="display: inline-block; border: 1px solid red; padding: 5px; margin-left: 20px;">仕 様 書</div>				
施工月日	令和	年 月 日					
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
施工延長 L=77.8m 砂防土工 一式 ネット系待受工 A=108.0m <sup>2</sup> 防止柵工 L=6.5m 擁壁工 L=14.1m 落石防護柵工 L=14.8m 水路工 L=24.6m							

# 特記仕様書

## 第1章 総則 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市本郷町上北方 急傾斜地崩壊対策工事（笹原地区）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
  - ・ **土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版**
  - ※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
  - ・ その他関連規格類

## 第2節 中間検査

本工事は、中間検査の対象工事とする。

## 第3節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。  
広島県工事中情報共有システム  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

## 第4節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
  - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
  - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
  - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

## 第5節 週休2日工事等

本工事は、「発注者指定型」による週休2日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休2日工事等実施要領（土木工事）」に基づき実施するものとする。

## 第6節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

## 第2章 施工条件

### 第1節 工程

- 1 地下埋設物の事前調査  
調査項目 地下埋設物  
調査時期 工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする）

### 第2節 用地

- 1 現場の復旧  
原形復旧とする。

### 第3節 公害対策

- 1 事前・事後調査  
調査区分 事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。  
調査区分 （設計変更の対象とする。）  
調査時期 施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）  
調査内容 柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況  
範囲 監督員と協議するものとする
- 2 粉じん防止  
管理内容 粉じん防止の散水  
範囲 工事作業範囲

### 第4節 安全対策

- 1 交通誘導員  
作業期間中の交通誘導員は、現場への搬入出に係わる作業において1（人／日）を見込んでいる。
- 2 一般道路  
使用期間 工事施工期間  
使用時間 8時～17時  
工事中・後の処置 随時 清掃、工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

### 第5節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画  
受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
- 2 計画の掲示及び公表  
受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。  
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。  
[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page\\_03060101credas1top.htm](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm)

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

ア 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

イ 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

- 12 受領書の保管  
受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

#### 第6節 その他

- 1 工所用機資材等の仮置き  
受注者が責任を持って管理すること。なお、借地料等については受注者の負担とする。
- 2 法定外の労災保険の付保  
1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。  
2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。  
3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。
- 3 新技術・新工法・特許工法の指定  
ネット系待受工について、次のとおり施工すること。  
内容 斜面崩壊における崩壊土石等の外力に対応できる待受工として、建設技術審査証明事業（砂防技術）実施要領に基づき、（財）砂防・地すべり技術センターの審査証明を受けた工法とすること。

### 第3章 設計金額

#### 第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和7年8月 広島版）『1-1-1-34 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。  
なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

#### 第2節 建設副産物

- 1 建設発生土（搬出） （建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。  
また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

搬出場所 株式会社アヴァンセ沼田東町納所リサイクルプラント

なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、発注者と受注者が協議するものとする。

- 2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。  
ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

### 第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
斜面对策【B箇所】		式	1	レベル1
砂防土工		式	1	レベル2
残土処理工		式	1	レベル3
防護柵工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
防止柵工		式	1	レベル3
基礎ブロック, 鋼管基礎	200 × 200 × 450	基	5	レベル4
金網・支柱(立入防止柵)	H=1500	m	7	レベル4
法面工		式	1	レベル2
組立設置工		式	1	レベル3
資機材搬入・搬出工		式	1	レベル4
支柱基礎反力体設置工		式	1	レベル4
リテイニングロープアンカー工		式	1	レベル4
サポートロープアンカー工		式	1	レベル4
本体組立工		式	1	レベル4
材料費		式	1	レベル4
仮設工		式	1	レベル2

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
足場工		式	1	レベル3
張コンクリート工		式	1	レベル2
張コンクリート工		式	1	レベル3
コンクリート	無筋構造物, 18-8-40BB	m3	7	レベル4
型枠	一般養生 一般型枠	式	1	レベル4
斜面对策【D箇所】		式	1	レベル1
砂防土工		式	1	レベル2
残土処理工		式	1	レベル3
排水構造物工		式	1	レベル2
側溝工		式	1	レベル3
プレキャストU型側溝	PU1-B300-H300(B)	m	25	レベル4
集水桝・マンホール工		式	1	レベル3
現場打ち集水桝	1-1号集水桝	箇所	1	レベル4
現場打ち集水桝	3-1号集水桝	箇所	1	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
構造物取壊し工		式	1	レベル3
コンクリート構造物取壊し	機械施工	m3	9	レベル4
運搬処理工		式	1	レベル3

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
殻運搬	コンクリート	m3	9	レベル4
殻処分	コンクリート	m3	9	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	16	レベル4
** 直接工事費 **				
準備費				
準備費		式	1	レベル2
準備費		式	1	レベル3
木根等処分費		式	1	レベル4
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				



# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
繰越分				
斜面对策		式	1	レベル1
擁壁工		式	1	レベル2
作業土工		式	1	レベル3
場所打擁壁工(構造物単位)		式	1	レベル3
重力式擁壁	擁壁平均高さ2m以上5m以下	m3	68	レベル4
落石防護工		式	1	レベル3
ロープ・金網	柵高1.50m_ロープ本数5本	m	15	レベル4
支柱	端末支柱設置_柵高1.5m	本	2	レベル4
支柱	中間支柱設置_柵高1.5m	本	4	レベル4
** 直接工事費 **				
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
契約保証費				

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 **					
** 工事費 **					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

図面番号	1/6	縮尺	S=1:500	1
工種	急傾斜地崩壊対策事業			
種別	平面図	縮尺	1/1	7
路線名	笹原地区			
工事箇所	三原市本郷町上北方			
	三原市			

# 平面図

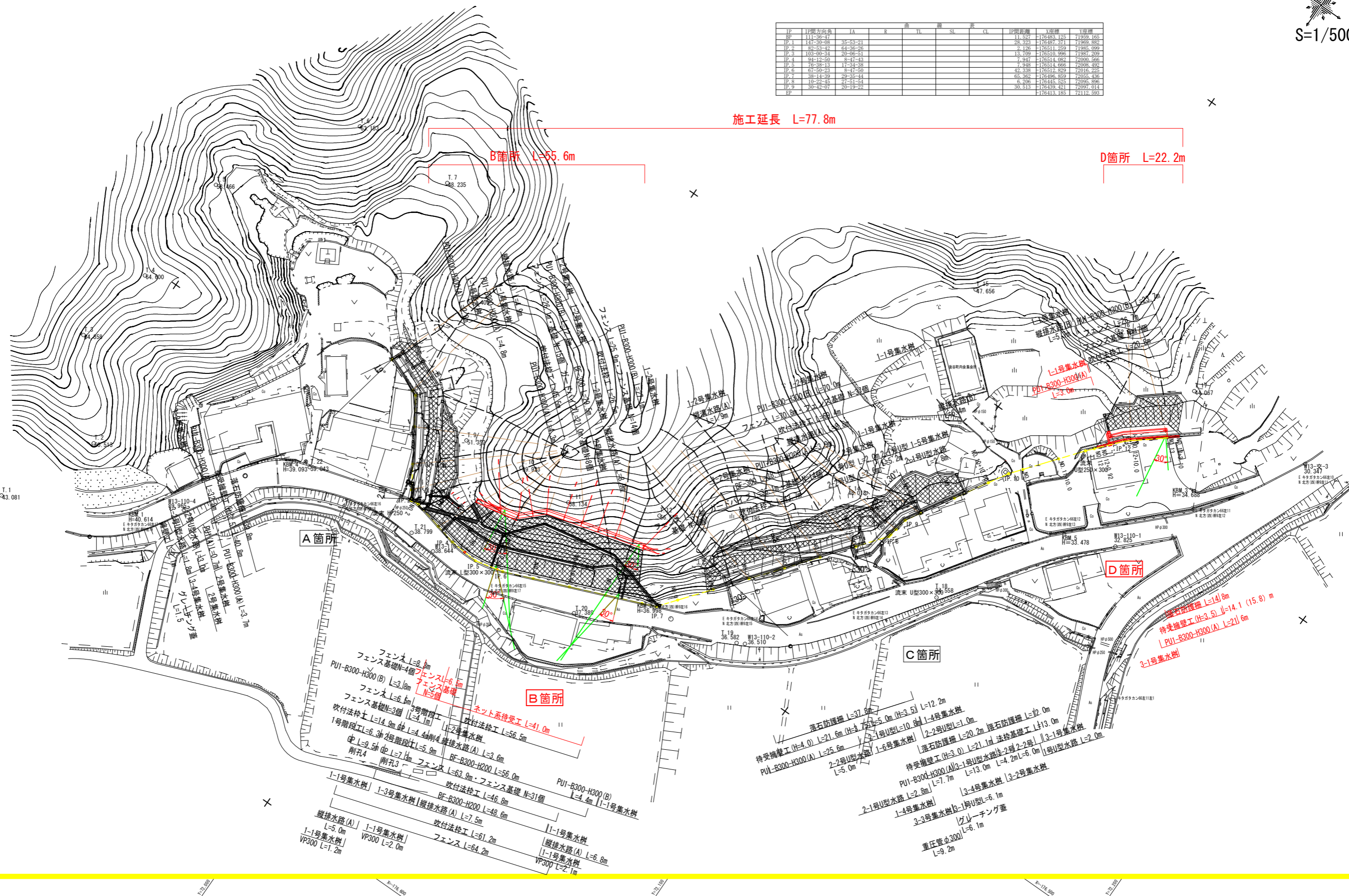


IP	IP間方向角	LA	R	TL	SL	CL	IP間距離	Y座標	X座標
IP	111-36-47						11.527	176483.125	71959.165
IP.1	147-39-08	35-63-21					63.393	176487.311	71969.885
IP.2	82-53-42	64-36-26					9.126	176511.259	71985.099
IP.3	103-00-34	20-06-51					13.109	176510.996	71987.202
IP.4	94-12-50	8-47-43					7.947	176514.085	72000.666
IP.5	76-38-13	17-34-38					7.848	176514.666	72008.492
IP.6	67-50-23	8-47-50					42.338	176512.829	72016.225
IP.7	38-14-39	29-35-44					63.392	176506.859	72055.436
IP.8	10-22-45	27-51-64					6.306	176445.525	72095.896
IP.9	30-42-07	20-19-22					30.513	176439.421	72097.014
IP								176413.185	72112.323

施工延長 L=77.8m

B箇所 L=55.6m

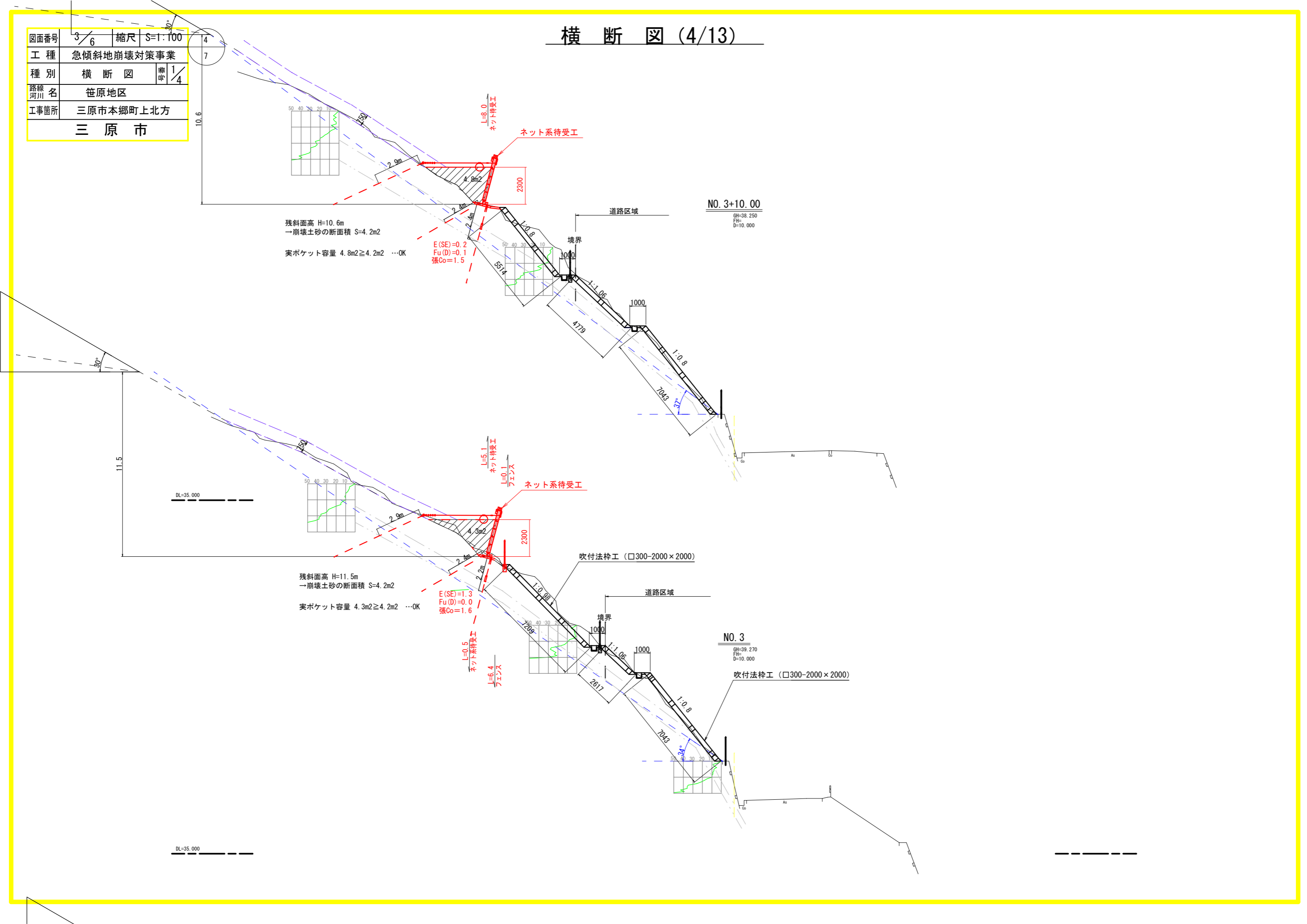
D箇所 L=22.2m





# 横断図 (4/13)

図面番号	3/6	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	横断図	縮尺	1/4
路線名	笹原地区		
工事箇所	三原市本郷町上北方		
三原市			



残斜面高 H=10.6m  
 →崩壊土砂の断面積 S=4.2m<sup>2</sup>  
 実ポケット容量 4.8m<sup>2</sup> ≥ 4.2m<sup>2</sup> ...OK

E(SE)=0.2  
 Fu(D)=0.1  
 張Co=1.5

NO. 3+10.00  
 GH=38.250  
 FH=10.000  
 D=10.000

残斜面高 H=11.5m  
 →崩壊土砂の断面積 S=4.2m<sup>2</sup>  
 実ポケット容量 4.3m<sup>2</sup> ≥ 4.2m<sup>2</sup> ...OK

E(SE)=1.3  
 Fu(D)=0.0  
 張Co=1.6

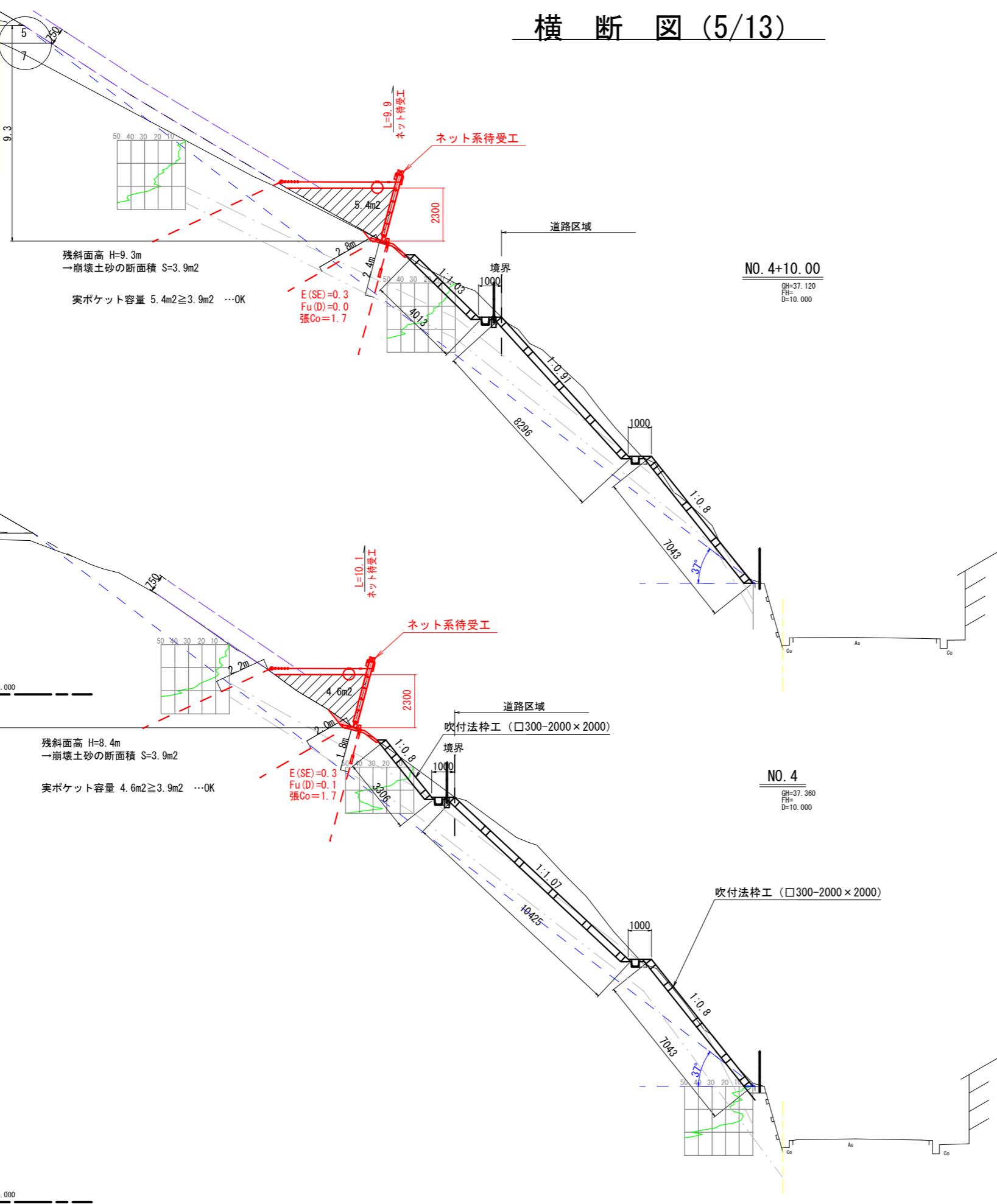
NO. 3  
 GH=39.270  
 FH=10.000  
 D=10.000

DL=35.000

DL=35.000

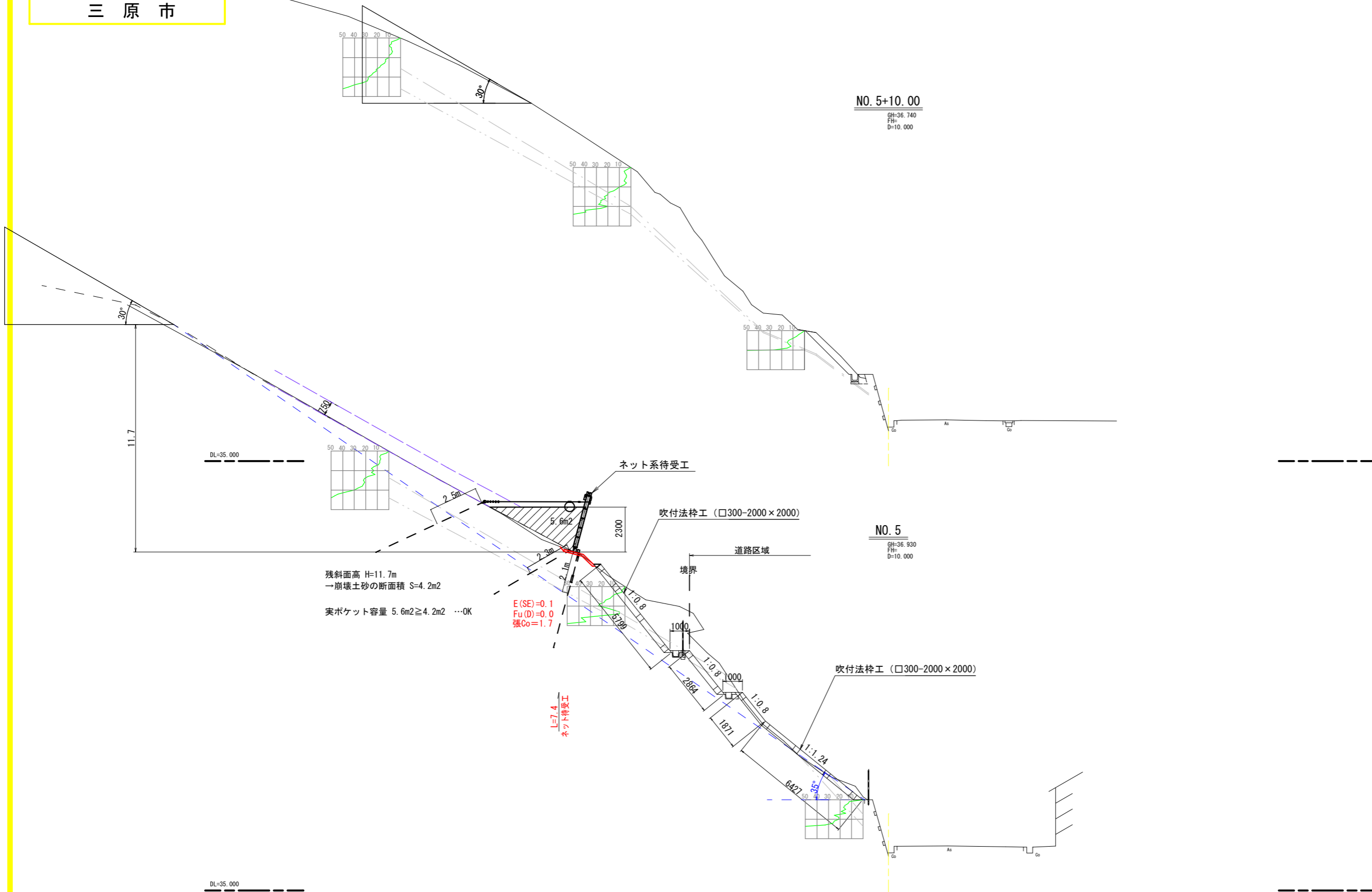
# 横断図 (5/13)

図面番号	4/6	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	横断図	細目	2/4
路線名	笹原地区		
工事箇所	三原市本郷町上北方		
三原市			



# 横断図 (6/13)

図面番号	5 / 6	縮尺	S=1:100	6
工種	急傾斜地崩壊対策事業			
種別	横断図	細目	3 / 4	7
路線 河川名	笹原地区			
工事箇所	三原市本郷町上北方			
<b>三原市</b>				



# 横断図 (13/13)

図面番号	6 / 6	縮尺	S=1:100	7
工種	急傾斜地崩壊対策事業			
種別	横断図	巻	4	4
路線名	笹原地区			
工事箇所	三原市本郷町上北方			
三原市				

NO. 13

GH=34.900  
FH=10.000  
D=10.000

残斜面高 H=15.5m  
→崩壊土砂の断面積 S=5.7m<sup>2</sup>

実ポケット容量 6.3m<sup>2</sup> ≥ 5.7m<sup>2</sup> …OK

L=0.0 埋戻コンクリート  
L=0.0 落石防護柵  
L=0.0 落石防護柵  
L=3.1 作業土工  
PUT(A) 作業土工 E(SE)=0.3  
Fu(D)=0.3  
K(SE)=0.5

埋戻Co=0.4 E(SE)=1.4  
Co取壊=0.8 Fu(D)=0.2  
K(SE)=2.5  
ブロック取壊= -  
石積取壊= -

L=9.5 落石防護柵

NO. 12+10.0

GH=35.200  
FH=10.000  
D=10.000

残斜面高 H=15.9m  
→崩壊土砂の断面積 S=5.7m<sup>2</sup>

実ポケット容量 6.3m<sup>2</sup> ≥ 5.7m<sup>2</sup> …OK

吹付法砕工 (□300-2000×2000)

埋戻Co=0.4 E(SE)=1.9  
Co取壊=0.6 Fu(D)=0.2  
K(SE)=2.5  
ブロック取壊= -  
石積取壊= -

L=4.1(5.8) 埋戻コンクリート  
L=5.3 落石防護柵  
L=4.1(5.8) 落石防護柵  
L=5.4 作業土工  
PUT(A) 作業土工 E(SE)=0.3  
Fu(D)=0.3  
K(SE)=0.5

DL=30.000

DL=30.000

-----

-----

# 参 考 资 料

—急傾斜地崩壊対策工事（笹原地区）—

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 65 三原市(本郷) 00-08.05.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co ……コンクリート      As ……アスファルト DT ……ダンプトラック      BH ……バックホウ CC ……クローラークレーン      TC ……トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
	当世代 07 砂防・地すべり等工事 00 補正なし 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
斜面对策【B箇所】					Y1D03 レベル1
砂防土工	1	式			Y1D0301 レベル2
残土処理工	1	式			Y1D030109 レベル3
土砂等運搬 土砂	10	m3			Y1D03010902 レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)	10	m3			SPK25040002 00 単第0 -0001 表
残土等処分	10	m3			Y1D03010903 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 土砂	10	m3			F0000000001 00

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護柵工					Y1G0105 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1E010901 レベル3
	1	式			
床掘り 土砂					Y1E01090102 レベル4
	10	m3			
床掘り 土砂 現場制約あり					SPK25040015 00
	10	m3			単第0 -0002 表
埋戻し 土砂					Y1E01090103 レベル4
	1	m3			
埋戻し 土砂 現場制約あり 締固め無し					SPK25040020 00
	1	m3			単第0 -0003 表
防止柵工					Y1G010502 レベル3
	1	式			
基礎ブロック,鋼管基礎 200×200×450					Y1G01050201 レベル4
	5	基			
基礎ブロック,鋼管基礎 基礎ブロック 金網柵 基礎碎石有り(t=10cm)					SPK25040254 00
	5	基			単第0 -0004 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
金網・支柱(立入防止柵) H=1500	7	m			Y1G01050202 レベル4
金網・支柱(立入防止柵) 基礎ブロック 支柱間隔2m	7	m			SPK25040255 00 単第0 -0005 表
ネットフェンス<丸パイプ型>亜鉛めっき Z-GS6, 3.2×56支柱めっき H1500	7	m			TTPCH0013 00
鉄網柵設置工	1	式			V000001100 00 単第0 -0006 表
法面工	1	式			Y1D0303 レベル2
組立設置工	1	式			Y1D030301 レベル3
資機材搬入・搬出工	1	式			Y1D03030101 レベル4
資機材搬入・搬出工	1	式			V000002000 00 単第0 -0007 表
支柱基礎反力体設置工	1	式			Y1D03100101 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
削孔工 ロータリーパーカッションスキッド 90mm 二重管エア－削孔 レキ質土	21.5	m			V000002201 00 単第0 -0008 表
削孔工 ロータリーパーカッションスキッド 90mm 二重管エア－削孔 軟岩	20.5	m			V000002204 00 単第0 -0009 表
削孔工 ロータリーパーカッションスキッド 115mm 二重管エア－削孔 レキ質土	21.0	m			V000002202 00 単第0 -0010 表
削孔工 ロータリーパーカッションスキッド 115mm 二重管エア－削孔 軟岩	11.0	m			V000002203 00 単第0 -0011 表
注入打設工	1.92	m3			V000002300 00 単第0 -0012 表
アンカー鋼材組立・加工挿入工 PC鋼棒相当 設計荷重400kN未満	18	本			V000002402 00 単第0 -0013 表
耐荷試験工 支柱基礎反力体	18	本			V000002500 00 単第0 -0014 表
ボーリングマシン移設工	1	回			V000002600 00 単第0 -0015 表
リテイニングロープアンカー工	1	式			Y1D03100101レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
削孔工 ロータリーパーカッションスキッド 90mm 二重管エア-削孔 レキ質土	27.5	m			V000002201 00  単第0 -0008 表
削孔工 ロータリーパーカッションスキッド 90mm 二重管エア-削孔 軟岩	22.5	m			V000002204 00  単第0 -0009 表
注入打設工	1.02	m3			V000002300 00  単第0 -0012 表
アンカー鋼材組立・加工挿入工 PC鋼線より線 設計荷重400kN未満	10	本			V000002400 00  単第0 -0016 表
耐荷試験工 山側・谷側反力体	10	本			V000002502 00  単第0 -0017 表
ボーリングマシン移設工	1	回			V000002600 00  単第0 -0015 表
サポートロープアンカー工	1	式			Y1D03100101レベル4
削孔工 ロータリーパーカッションスキッド 90mm 二重管エア-削孔 レキ質土	12.5	m			V000002201 00  単第0 -0008 表
削孔工 ロータリーパーカッションスキッド 90mm 二重管エア-削孔 軟岩	10	m			V000002204 00  単第0 -0009 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
注入打設工					V000002300 00
	0.46	m3			単第0 -0012 表
アンカー鋼材組立・加工挿入工 PC鋼線より線 設計荷重400kN未満					V000002400 00
	4	本			単第0 -0016 表
耐荷試験工 横反力体					V000002501 00
	4	本			単第0 -0018 表
ボーリングマシン移設工					V000002600 00
	1	回			単第0 -0015 表
本体組立工					Y1D03100101レベル4
	1	式			
グラウンドプレート設置工					V000002700 00
	9	箇所			単第0 -0019 表
支柱組立設置工 標高=3.0m					V000002800 00
	9	箇所			単第0 -0020 表
リテイニングロープ工 ダウンスロープリテイニングロープ工含む					V000002900 00
	10	本			単第0 -0021 表
ラテラルロープ工 インターミディエイトロープ工含む					V000003000 00
	2	本			単第0 -0022 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
パーティカルロープ工					V000003100 00
	2	本			単第0 -0023 表
サポートロープ・リプレイスロープ工					V000003200 00
	6	本			単第0 -0024 表
リングネット工					V000003300 00
	108	m2			単第0 -0025 表
材料費					Y1D03100101レベル4
	1	式			
材料費					V000004000 00
	1	式			単第0 -0026 表
仮設工					Y1D0310 レベル2
	1	式			
足場工					Y1D031001 レベル3
	1	式			
足場					Y1D03100101レベル4
	650	空m3			
足場工					V000002100 00
	650	空m3			単第0 -0027 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
張コンクリート工					Y1D0304 レベル2
	1	式			
張コンクリート工					Y1D030405 レベル3
	1	式			
コンクリート 無筋構造物,18-8-40BB 一般養生					Y1D03040503 レベル4
	7	m3			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設					SPK25040157 00
	7	m3			単第0 -0028 表
型枠 一般型枠					Y1D03040505 レベル4
	4	m2			
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物					SPK25040159 00
	4	m2			単第0 -0029 表
斜面对策【D箇所】					Y1D03 レベル1
	1	式			
砂防土工					Y1D0301 レベル2
	1	式			
残土処理工					Y1D030109 レベル3
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
土砂等運搬 土砂	20	m3			Y1D03010902 レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)	20	m3			SPK25040002 00 単第0 -0001 表
残土等処分	20	m3			Y1D03010903 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 土砂	20	m3			F0000000001 00
排水構造物工	1	式			Y1E0109 レベル2
側溝工	1	式			Y1E010903 レベル3
プレキャストU型側溝 PU1-B300-H300(B)	25	m			Y1E01090301 レベル4
U型側溝 鉄筋コンクリートU形(JIS_A_5372) 300B[300×300×600]	25	m			SDT00013 00 単第0 -0030 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
集水桝・マンホール工					Y1E010905 レベル3
	1	式			
現場打ち集水桝 1-1号集水桝					Y1E01090502 レベル4
	1	箇所			
1-1号集水桝					V000000300 00
	1	箇所			単第0 -0031 表
現場打ち集水桝 3-1号集水桝					Y1E01090502 レベル4
	1	箇所			
3-1号集水桝					V000000400 00
	1	箇所			単第0 -0034 表
構造物撤去工					Y1E0112 レベル2
	1	式			
構造物取壊し工					Y1E011206 レベル3
	1	式			
コンクリート構造物取壊し 機械施工					Y1E01120601 レベル4
	9	m3			
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工					SDT00031 00
	9	m3			単第0 -0035 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬処理工					Y1E011216 レベル3
	1	式			
殻運搬 コンクリート					Y1E01121601 レベル4
	9	m3			
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離10.9km以下(8.0km超)					SPK25040155 00
	9	m3			単第0 -0036 表
殻処分 コンクリート					Y1E01121602 レベル4
	9	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
Co殻受入費					F000001100 00
	22	t			
全工種共通仮設					Y1J01 レベル1
	1	式			
仮設工					Y1J0101 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1J010121 レベル3
	1	式			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員	16	人			Y1J01012101レベル4 A=0, D=0
交通誘導警備員B	16	人			R0369 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
準備費					Z0005
準備費	1	式			YZZ05 レベル2
準備費	1	式			YZZ05001 レベル3
木根等処分費	1	式			YZZ05001001レベル4
伐木・伐竹(伐木除根) 伐木(人力:中)(10本以上50本未満/100m2)	400	m2			SPK25040183 00  単第0 -0037 表
集積(人力施工)(伐木除根)	400	m2			SPK25040187 00  単第0 -0038 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬(伐木除根) 人力施工 DID区間無し 運搬距離8.0km以下(6.0km超)	41	m3			SPK25040189 00  単第0 -0039 表
【準備費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0047
投棄料	41	m3			F000002000 00
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 工事原価 **					

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率... 率参照額.....
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費 **					

# 繰越分 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
繰越分					X2000
斜面对策					Y1D03 レベル1
擁壁工	1	式			Y1D0304 レベル2
作業土工	1	式			Y1E010901 レベル3
床掘り【D箇所】 土砂	1	式			Y1E01090102 レベル4
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	30	m3			SPK25040015 00
埋戻し【D箇所】 土砂	30	m3			単第0 -0040 表 Y1E01090103 レベル4
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	5	m3			SPK25040020 00
コンクリート 無筋構造物, 18-8-40BB 一般養生	5	m3			単第0 -0041 表 Y1D03040503 レベル4
	6	m3			

# 繰越分 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	6	m3			SPK25040157 00  単第0 -0042 表
場所打擁壁工(構造物単位)	1	式			Y1D030404 レベル3
重力式擁壁 擁壁平均高さ2m以上5m以下	68	m3			Y1D03040402レベル4
重力式擁壁 擁壁平均高さ2m以上5m以下 基礎砕石無し 均しCo有り	68	m3			SPK25040071 00  単第0 -0043 表
落石防護工	1	式			Y1D030411 レベル3
ロープ・金網 柵高1.50m_ロープ本数5本	15	m			Y1D03041101レベル4
落石防護柵ロープ金網設置工(間隔保持材付) 柵高1.50m_ロープ本数5本 [規]15m以上 - - -	15	m			SS000159 00  単第0 -0044 表
支柱 端末支柱設置_柵高1.5m	2	本			Y1D03041102レベル4
落石防護柵 支柱設置工(中間及び端末) 端末支柱設置_柵高1.5m -	2	本			SS000157 00  単第0 -0045 表

# 繰越分 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
支柱 中間支柱設置_柵高1.5m	4	本			Y1D03041102レベル4
落石防護柵 支柱設置工(中間及び端末) 中間支柱設置_柵高1.5m -	4	本			SS000157 00  単第0 -0046 表
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					率参照額.....
** 工事原価 **					

# 繰越分 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率... 率参照額.....
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事費 **					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

# 施工単価表

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0001 表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離7.5km以下(6.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 26.52% 労務構成比:

61.90%

材料構成比: 11.58%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,287.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=33 距離7.5km以下(6.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		





# 施工単価表

基礎ブロック, 鋼管基礎

SPK25040254

単第0 -0004 表

基礎ブロック 金網柵

基礎砕石有り (t=10cm)

1

基 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

81.10%

材料構成比:

18.90%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

4,284.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	72.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.95%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
フェンス用基礎ブロック 200×200×450mm 参考質量31kg	18.90%		基礎ブロック フェンス用ブロック 20×20×45(cm)		TTPC00366 TTPT00366
積算単価			積算単価		EP001
A=1 基礎ブロック D=2 基礎砕石有り (t=10cm)			B=1 金網柵 E=1 -(全ての費用)		

# 施工単価表

金網・支柱(立入防止柵)

SPK25040255

単第0 -0005 表

基礎ブロック

支柱間隔2m

1

m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

100.00%

材料構成比:

0.00%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

3,487.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	90.31%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	8.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 D=1 基礎ブロック -(全ての費用)			C=2 支柱間隔2m		





# 施工単価表

削孔工

V000002201

単第0 -0008 表

ロータリーパーカッションスキッド 90mm

二重管エア削孔 レキ質土

10

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.66	人			
特殊作業員	0.66	人			
普通作業員	1.32	人			
ボーリングマシン ロータリーパーカッション式・スキッド型 55kW級	0.66	日			
空気圧縮機 可搬式・E駆動・スクリュ型・排1 吐出量10.5～11m3/min圧力0.7MPa	0.66	日			
シャンクロッド 95mm アンカー用	0.04	本			
クリーニングアダプタ 95mm アンカー用	0.03	個			
エクステンションロッド 95mm アンカー用	0.04	個			
ドリルパイプ 95mm, 1.0m アンカー用	0.20	本			
インナーロッド 95mm, 1.0m アンカー用	0.22	本			
リングビット 95mm アンカー用	0.20	個			
インナービット 95mm アンカー用	0.16	個			



# 施工単価表

削孔工

V000002204

単第0 -0009 表

ロータリーパーカッションスキッド 90mm

二重管エア-削孔 軟岩

10

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.78	人			
特殊作業員	0.78	人			
普通作業員	1.56	人			
ボーリングマシン ロータリーパーカッション式・スキッド型 55kW級	0.78	日			
空気圧縮機 可搬式・E駆動・スクリュ型・排1 吐出量10.5~11m3/min圧力0.7MPa	0.78	日			
シャンクロッド 95mm アンカー用	0.05	本			
クリーニングアダプタ 95mm アンカー用	0.04	個			
エクステンションロッド 95mm アンカー用	0.05	個			
ドリルパイプ 95mm, 1.0m アンカー用	0.29	本			
インナーロッド 95mm, 1.0m アンカー用	0.34	本			
リングビット 95mm アンカー用	0.24	個			
インナービット 95mm アンカー用	0.16	個			



# 施工単価表

削孔工

V000002202

単第0 -0010 表

ロータリーパーカッションスキッド 115mm 二重管エア削孔 レキ質土

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.86	人			
特殊作業員	0.86	人			
普通作業員	1.72	人			
ボーリングマシン ロータリーパーカッション式・スキッド型 55kW級	0.86	日			
空気圧縮機 可搬式・E駆動・スクリュ型・排1 吐出量10.5~11m3/min圧力0.7MPa	0.86	日			
シャンクロッド 118mm アンカー用	0.04	本			
クリーニングアダプタ 118mm アンカー用	0.03	個			
エクステンションロッド 118mm アンカー用	0.04	個			
ドリルパイプ 118mm, 1.0m アンカー用	0.20	本			
インナーロッド 118mm, 1.0m アンカー用	0.22	本			
リングビット 118mm アンカー用	0.20	個			
インナービット 118mm アンカー用	0.16	個			



# 施工単価表

削孔工

V000002203

単第0 -0011 表

ロータリーパーカッションスキッド 115mm

二重管エア-削孔 軟岩

10

m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.00	人			
特殊作業員	1.00	人			
普通作業員	2.00	人			
ボーリングマシン ロータリーパーカッション式・スキッド型 55kW級	1.00	日			
空気圧縮機 可搬式・E駆動・スクリュ型・排1 吐出量10.5~11m3/min圧力0.7MPa	1.00	日			
シャンクロッド 118mm アンカー用	0.05	本			
クリーニングアダプタ 118mm アンカー用	0.04	個			
エクステンションロッド 118mm アンカー用	0.05	個			
ドリルパイプ 118mm, 1.0m アンカー用	0.29	本			
インナーロッド 118mm, 1.0m アンカー用	0.34	本			
リングビット 118mm アンカー用	0.24	個			
インナービット 118mm アンカー用	0.16	個			



# 施工単価表

注入打設工

V000002300

単第0 -0012 表

頁0 -0035

10

m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	17.00	人			
特殊作業員	17.00	人			
普通作業員	34.00	人			
雑材料	23	%			#01
セメント(袋) 早強ポルトランド 25kg/袋	12.3	t			
混和剤 シーカセムFLC	123	L			
*** 合計 ***	10	m3			
*** 単位当たり ***	1	m3			

























# 施工単価表

リングネット工

V000003300

単第0 -0025 表

頁0 -0048

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	5.26	人			
とび工	21.04	人			
普通作業員	10.52	人			
雑材料	10	%			#01
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

100

m2 当り

# 施工単価表

材料費

V000004000

単第0 -0026 表

頁0 -0049

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
支柱アッセンブリー H=3.0m(H-175)	9	組			
グラウンドプレート GP-1-1B	9	体			
リングネット ROCC012/3/300	108	m2			
ワイヤメッシュ 2.4×50	6	ロール			
ワイヤメッシュ接続針金 L=120mm	984	個			
リプレイスロープ G22mm×L=1.5m 両端シンプル加工 ブレーキリング：GN-9017 1個付属	4	本			
上部サポートロープ G22mm×L=52.0m 一端シンプル加工	1	本			
下部サポートロープ G22mm×L=45.5m 一端シンプル加工	1	本			
ラテラルロープ G22mm×L=6.0m 一端500mmループ加工	2	本			
リテイニングロープ 18mm×L=10.5m 一端500mmループ加工 ブレーキリング：GS-8001 1個付属	1	本			
リテイニングロープ G22mm×L=7.0m 一端500mmループ加工 ブレーキリング：GN-9017 1個付属	2	本			
リテイニングロープ G22mm×L=7.5m 一端500mmループ加工 ブレーキリング：GN-9017 1個付属	2	本			

# 施工単価表

材料費

V000004000

単第0 -0026 表

頁0 -0050

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
リテイニングロープ G22mm×L=9.0m 一端500mmループ加工 ブレーキリング：GN-9017 1個付属	2	本			
リテイニングロープ G22mm×L=8.5m 一端500mmループ加工 ブレーキリング：GN-9017 1個付属	1	本			
リテイニングロープ G22mm×L=6.5m 一端500mmループ加工 ブレーキリング：GS-8001 1個付属	1	本			
パーティカルロープ G22mm×L=7.5m 両端シンプル加工	2	本			
ダウンスロープリテイニングロープ 16mm×L=4.5m 一端500mmループ加工	1	本			
支持保持ロープ 14mm×L=2.0m 一端100mmループ加工	8	本			
ワイヤクリップ FF-C-450 9/16	24	個			
ワイヤクリップ FF-C-450 5/8	3	個			
ワイヤクリップ FF-C-450 3/4	8	個			
ワイヤクリップ FF-C-450 7/8	58	個			
ワイヤクリップ EN 13411-5 NG22	4	個			
シャックル NG5/8	398	個			

# 施工単価表

材料費

V000004000

単第0 -0026 表

頁0 -0051

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
シャックル NG1	8	個			
シンプル G22mm用	2	個			
上部サポートロープアンカー 14.5mm×2 L=5.5m	1	本			
上部サポートロープアンカー 14.5mm×2 L=5m	1	本			
下部サポートロープアンカー 18.5mm×2 L=6m	2	本			
リテイニングロープアンカー 10.5mm×2 L=5m	1	本			
リテイニングロープアンカー 10.5mm×2 L=4.5m	1	本			
リテイニングロープアンカー 14.5mm×2 L=5.5m	1	本			
リテイニングロープアンカー 14.5mm×2 L=5m	5	本			
リテイニングロープアンカー 14.5mm×2 L=6m	1	本			
ダウンスロープアンカー 10.5mm×2 L=4m	1	本			
全ねじ異形棒鋼 D32(SD490) L=3.2m	3	本			

# 施工単価表

材料費

V000004000

単第0 -0026 表

頁0 -0052

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
全ねじ異形棒鋼 D32(SD490) L=3.7m	4	本			
全ねじ異形棒鋼 D32(SD490) L=4.2m	2	本			
全ねじ異形棒鋼 D32(SD490) L=4.7m	5	本			
全ねじ異形棒鋼 D32(SD490) L=5.2m	3	本			
全ねじ異形棒鋼 D32(SD490) L=5.7m	1	本			
ナット(上部) D32用	20	個			
ナット(下部) D32用	20	個			
ワッシャ D32用	30	個			
球面ワッシャ D32用	10	個			
カプラー D32用	12	個			
補強鋼管 STPG370 76.3×t7.0 L=1500	10	本			
頭部保護キャップ	20	個			



# 施工単価表

足場工

V000002100

単第0 -0027 表

頁0 -0054

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.10	人			
とび工	6.20	人			
普通作業員	3.90	人			
雑材料	21	%			#01
*** 合計 ***	100	空m3			
*** 単位当たり ***	1	空m3			

100

空m3 当り

# 施工単価表

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0028 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 36.06%

材料構成比: 63.94%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

34,148.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	21.19%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	6.54%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	5.90%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	63.94%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=1 現場内小運搬有り K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

# 施工単価表

型枠

SPK25040159

単第0 -0029 表

一般型枠

鉄筋・無筋構造物

1

m2 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

10,100.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.66%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.14%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		





# 施工単価表

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0032 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50%

労務構成比:

34.96%

材料構成比:

61.54%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

36,531.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.31%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	59.80%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.65%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

頁0 -0061

基礎碎石

SPK25040034

単第0 -0033 表

碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.04% 労務構成比: 74.10%

材料構成比: 20.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,335.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	5.01%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	35.62%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	15.04%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	13.95%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	8.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシャーラン 40~0mm	16.17%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013







# 施工単価表

殻運搬

SPK25040155

単第0 -0036 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離10.9km以下(8.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 40.77% 労務構成比:

44.82% 材料構成比: 14.41% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,790.50000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=44 運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

# 施工単価表

伐木・伐竹(伐木除根)

SPK25040183

単第0 -0037 表

伐木(人力:中)(10本以上50本未満/100m2)

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

125.84000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	56.23%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	22.17%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	12.51%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 伐木(人力:中)(10本以上50本未満/100m2)			B=1 -(全ての費用)		

# 施工単価表

集積(人力施工)(伐木除根)

SPK25040187

単第0 -0038 表

頁0 -0067

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m2 当り 77.25800

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	55.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	30.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽作業員	13.21%		軽作業員		RTPC00011 RTPT00011
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

# 施工単価表

運搬(伐木除根)  
 人力施工 DID区間無し

SPK25040189

単第0 -0039 表

運搬距離8.0km以下(6.0km超)

1

m3 当り

機械構成比: 21.60% 労務構成比:

69.98%

材料構成比: 8.42%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,465.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	21.60%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	69.98%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.42%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 人力施工 D=23 運搬距離8.0km以下(6.0km超)			C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)		

# 施工単価表

床掘り

SPK25040015

単第0 -0040 表

土砂 上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 18.73%

労務構成比: 74.16%

材料構成比: 7.11%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,247.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	18.73%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	40.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

# 施工単価表

埋戻し

SPK25040020

単第0 -0041 表

土砂

上記以外(小規模)

1

m3 当り

機械構成比: 8.87%

労務構成比:

87.15%

材料構成比: 3.98%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

4,063.80000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	8.27%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg	0.60%		タンパ及びランマ ランマ 質量60~80kg		MTPC00048 MTPT00048
普通作業員	50.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.35%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	17.77%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	3.14%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.84%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=5 D=1 上記以外(小規模) -(全ての費用)			B=1 土砂		



# 施工単価表

埋戻コンクリート  
無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

SPK25040157

単第0 -0042 表

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50% 労務構成比:

34.96% 材料構成比: 61.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

36,531.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.31%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	59.80%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.65%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

重力式擁壁

擁壁平均高さ2m以上5m以下

機械構成比: 6.20% 労務構成比: 60.04%

SPK25040071

基礎砕石無し 均しCo有り

材料構成比: 33.76%

単第0 -0043 表

市場単価構成比: 0.00%

1  
標準単価:

m3 当り

62,245.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m <sup>3</sup> /h	4.49%		コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90~110m <sup>3</sup> /h		MTPC00050 MTPT00050
その他(機械)			その他(機械)		EK009
型わく工	14.03%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	13.46%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.96%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	2.27%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	32.99%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.56%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013









急傾斜地崩壊対策事業（笹原地区） 総括数量表

工種	種別	細別	規格	単位	数量	計上数量	摘要
<b>【B 箇所】</b>							
作業土工							
	掘削工	土砂	現場制約あり	m3	12.0	10	
	埋戻	土砂	現場制約あり	m3	0.6	1	
	残土処理工	残土運搬・処分	砂質土	m3	11.5	10	
法面工							
	ネット系待受工			m	41.0	41	
	組立設置工						
		資機材搬入・搬出		式	1.0	1	
		ラフテレーンクレーン	16t	日	8.0	8	
	支柱基礎反力体設置工						
		削孔	φ90mm、レキ質土	m	21.5	21.5	
			φ90mm、軟岩	m	20.5	20.5	
			φ115mm、レキ質土	m	21.0	21.0	
			φ115mm、軟岩	m	11.0	11.0	
		注入打設工		m3	1.92	1.92	
		アンカー鋼材組立・加工挿入工	PC鋼棒相当	本	18.0	18	
		耐荷試験工	支柱基礎反力体	本	18.0	18	
		ボーリングマシン移設工		回	1.0	1	
	リテイニングロープアンカー工						
		削孔	φ90mm、レキ質土	m	27.5	27.5	
			φ90mm、軟岩	m	22.5	22.5	
		注入打設工		m3	1.02	1.02	
		アンカー鋼材組立・加工挿入工	PC鋼線より線	本	10.0	10	
		耐荷試験工	山側・谷側反力体	本	10.0	10	
		ボーリングマシン移設工		回	1.0	1	
	サポートロープアンカー工						
		削孔	φ90mm、レキ質土	m	12.5	12.5	
			φ90mm、軟岩	m	10.0	10.0	
		注入打設工		m3	0.46	0.46	
		アンカー鋼材組立・加工挿入工	PC鋼線より線	本	4.0	4	
		耐荷試験工	横反力体	本	4.0	4	
		ボーリングマシン移設工		回	1.0	1	
	本体組立工						
		グラウンドプレート設置工		箇所	9.0	9	
		支柱組立設置工	標高3.0m	箇所	9.0	9	

		リテイニングロープ工	ダウンズロープリテイニングロープ工含む	本	10.0	10	
		ラテラルロープ工	インターミディエイトロープ工含む	本	2.0	2	
		バーチカルロープ工		本	2.0	2	
		サポートロープ・リプレイスロープ工		本	6.0	6	
		リングネット工		m2	108.0	108	
	材料費	材料費		式	1.0	1	
	仮設工						
		足場工		空m3	651.0	650	
防護柵工							
	防止柵工	基礎ブロック	200×200×450	基	5.0	5	
		金網・支柱		m	6.5	7	
		ネットフェンス	H=1500	m	6.5	7	
張Co工							
	張Co工	無筋コンクリート	t=10cm	m3	6.9	7	
		型枠		m2	4.1	4	
<b>【D箇所】</b>							
作業土工							
	床堀	土砂	小規模	m3	29.3	30	
	埋戻	土砂	小規模	m3	5.0	5	
	埋戻コンクリート	無筋コンクリート	バックホウ打設	m3	6.3	6	
残土処理工							
	残土処理工	残土運搬・処分	砂質土	m3	23.7	20	
擁壁工							
	待受擁壁工	H=3.5m		m	14.1	14	
防護柵工							
	落石防護柵工	落石防護柵	H=1500	m	14.8	15	
排水工							
	側溝工	PU1-B300-H300(A)		m	24.6	25	
	集水樹工	1-1号集水樹		箇所	1.0	1	
		3-1号集水樹		箇所	1.0	1	
構造物撤去工							
	構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し	無筋, -5m≤H<5m	m3	9.3	9	
	運搬処理工	殻運搬処理	コンクリート	m3	9.3	9	
<b>【共通】</b>							
仮設工							
	交通管理工	交通誘導警備員		人	16.0	16	
準備費							
	木根等処分費	伐採工		m2	410.0	400	V=41m3

急傾斜地崩壊対策事業（笹原地区） 数量計算表

【B箇所】

レベル1(工事区分) 道路改良

レベル2(工種) 土工

レベル3(種別)	レベル4(細別)	レベル5(規格)	積算用 単位	数量計 算用単 位	数 量 区 分	合計						内訳数量表 別紙	備 考			
作業土工			式	m3												
	掘削(土砂)		m3	m3	合 計	12.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
					片切部	砂・砂質土	0.0									
						粘性土	0.0									
						礫質土	12.0	12.0								
						岩塊・玉石	0.0									
	埋戻(D)		m3	m3	合 計	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0					
	片切部	軟岩1	0.6	0.6												
軟岩2		0.0														
残土処理工			式	m3												
	残土処理		m3	m3	合 計	11.3	11.3	0.0	0.0	0.0	0.0					
					片切部	砂・砂質土	0.0									
						粘性土	0.0									
						レキ質土	11.3	11.3								
						軟岩	0.0									
						硬岩	0.0									
						岩塊・玉石	0.0									

## 作業土工 集計表

作業土工

種別 場所	床堀(土砂)	床堀(軟岩)	埋 戻 (種別D)	基面整正	埋戻コンクリート
B箇所	12.0	—	0.6	0.0	
					—
					—
計	12.0 m <sup>3</sup>	0.0 m <sup>3</sup>	0.6 m <sup>3</sup>	0.0 m <sup>2</sup>	0.0 m <sup>3</sup>

作業土工 (ネット系待受工) 計 算 書

測 点	距 離	床堀 (土砂) E (SE)			埋戻(種別D) Fu(D)			摘 要
		断 面	平 均	立 積	断 面	平 均	立 積	
		1.3			0.0			
NO. 3	0.4	1.3	1.30	0.5	0.0	0.00	0.0	
NO. 3+10.00	5.0	0.2	0.75	3.8	0.1	0.05	0.2	
NO. 4	8.0	0.3	0.25	2.0	0.1	0.10	0.2	
NO. 4+10.00	10.1	0.3	0.30	3.0	0.0	0.05	0.2	
NO. 5	10.1	0.1	0.20	2.0	0.0	0.00	0.0	
	7.4	0.1	0.10	0.7	0.0	0.00	0.0	
合 計	41.0			12.0			0.6	

# 土量配分

発生土(土砂)

掘削 = 0.0 m<sup>3</sup>

床掘 = 12.0 m<sup>3</sup>

合計 = 12.0 m<sup>3</sup>

必要土

埋戻(D) = 0.6 m<sup>3</sup>

合計 = 0.6 m<sup>3</sup>

残土処分

(土砂) 発生土 - 流用土 × 1/変化率

$$V = 12.0 - 0.6 \times 1/0.9 = 11.3 \text{ m}^3$$

レベル1(工事区分) 道路改良

レベル2(工種) 落石防止工

レベル3(種別)	レベル4(細別)	レベル5(規格)	積算用 単位	数量計 算用単 位	数量区分	合計						内訳数量表 別紙	備 考
ネット系待受工			式	m2									
	ネット系待受工		m	m	合 計	41.0	41.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
						41.0	41.0					別紙による	インバクバリア相当品
						0.0							
フェンス			式	m									
	フェンス	H=1.5m	m	m	合 計	6.5	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0		
						0.0	0.0						
						6.5	6.5						
フェンス基礎			式	m									
	フェンス基礎				合 計	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		200×200×450	箇所	箇所		5.0	5.0					1-3	
		基礎採石	m2	m2	合 計	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0		
						0.5	0.5						





レベル1(工事区分) 道路修繕

レベル2(工種) 張コンクリート工

レベル3(種別)	レベル4(細別)	レベル5(規格)	積算用 単位	数量計 算用単 位	数 量 区 分	合計						内訳数量表 別紙	備 考
張コンクリート工			式	m2									
	コンクリート	t=10cm	m3	m3	合 計	6.9	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0		
						6.9	6.9						
						0.0							
	型枠		m2	m2	合 計	4.1	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0		
						4.1	4.1						
						0.0							
					合 計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
						0.0							
						0.0							

## 法面工 数量総括表

インパクトバリア					
H= 3m      L=5m+4m×2s+5m×5s+3m=41m					
項目または名称	仕	様	単位	数量	備考
支柱アッセンブリー	H=3. 0m		組	9	
グラウンドプレート	GP-1-IB		体	9	
リングネット	ROCC012/3/300		m <sup>2</sup>	108. 0	
ワイヤメッシュ	φ 2. 4×50		ロール	6	
ワイヤメッシュ接続針金	L=120mm		個	984	
リプレイスロープ	A-1	φ G22mm×L=1. 5m 両端シングル加工	本	2	
		ブレイキング： GN-9017 1個付属			
上部サポートロープ	A-2	φ G22mm×L=52m 一端シングル加工	本	1	
リプレイスロープ	B-1	φ G22mm×L=1. 5m 両端シングル加工	本	2	
		ブレイキング： GN-9017 1個付属			
下部サポートロープ	B-2	φ G22mm×L=45. 5m 一端シングル加工	本	1	
ラテラルロープ	C-1	φ 22mm×L=6m 一端500mmルーフ加工	本	1	
	C-2	φ 22mm×L=6m 一端500mmルーフ加工	本	1	
リテイニングロープ	D-1	φ 18mm×L=10. 5m 一端500mmルーフ加工	本	1	
		ブレイキング： GS-8001 1個付属			
	D-2	φ G22mm×L=7m 一端500mmルーフ加工	本	1	
		ブレイキング： GN-9017 1個付属			
	D-3	φ G22mm×L=7. 5m 一端500mmルーフ加工	本	1	
		ブレイキング： GN-9017 1個付属			
	D-4	φ G22mm×L=7m 一端500mmルーフ加工	本	1	
		ブレイキング： GN-9017 1個付属			
	D-5	φ G22mm×L=7. 5m 一端500mmルーフ加工	本	1	
		ブレイキング： GN-9017 1個付属			
D-6	φ G22mm×L=9m 一端500mmルーフ加工	本	1		
	ブレイキング： GN-9017 1個付属				
D-7	φ G22mm×L=9m 一端500mmルーフ加工	本	1		
	ブレイキング： GN-9017 1個付属				
D-8	φ G22mm×L=8. 5m 一端500mmルーフ加工	本	1		
	ブレイキング： GN-9017 1個付属				
D-10	φ 18mm×L=6. 5m 一端500mmルーフ加工	本	1		
	ブレイキング： GS-8001 1個付属				
パーティカルロープ	E-1	φ G22mm×L=7. 5m 両端シングル加工	本	2	
ダウンスロープ リテイニングロープ	F-1	φ 16mm×L=4. 5m 一端500mmルーフ加工	本	1	
支柱保持ロープ	G-1	φ 14mm×L=2m 一端100mmルーフ加工	本	7	

## 法面工 数量総括表

インパクトバリア					
H= 3m      L=5m+4m × 2s+5m × 5s+3m=41m					
項目または名称	仕	様	単位	数量	備考
ワイヤクリップ	FF-C-450 7/16"		個	0	
	FF-C-450 9/16"		個	21	
	FF-C-450 5/8"		個	3	
	FF-C-450 3/4"		個	8	
	FF-C-450 7/8"		個	58	
	EN 13411-5 NG22		個	4	
シャックル	NG5/8"		個	396	
	NG1"		個	8	
シンプル	φ G22mm用		個	2	
上部サポートロープアンカー	φ 14. 5mm × 2	L=5. 5m	本	1	
	φ 14. 5mm × 2	L=5m	本	1	
下部サポートロープアンカー	φ 18. 5mm × 2	L=6m	本	1	
	φ 18. 5mm × 2	L=6m	本	1	
端末部リテイニングロープアンカー	φ 10. 5mm × 2	L=5m	本	1	
	φ 10. 5mm × 2	L=4. 5m	本	1	
中間部リテイニングロープアンカー	φ 14. 5mm × 2	L=5. 5m	本	1	
	φ 14. 5mm × 2	L=5m	本	3	
	φ 14. 5mm × 2	L=6m	本	1	
	φ 14. 5mm × 2	L=5m	本	2	
ダウンスロープアンカー	φ 10. 5mm × 2	L=4m	本	1	
全ねじ異形棒鋼 (山側)	D32 (SD490)	L=4. 2m	本	1	
	D32 (SD490)	L=4. 2m	本	1	
	D32 (SD490)	L=5. 2m	本	1	
	D32 (SD490)	L=4. 7m	本	3	
	D32 (SD490)	L=5. 7m	本	1	
	D32 (SD490)	L=5. 2m	本	2	

## 法面工 数量総括表

インパクトバリア					
H= 3m      L=5m+4m×2s+5m×5s+3m=41m					
項目または名称	仕	様	単位	数量	備考
全ねじ異形棒鋼（谷側）	D32（SD490）	L=4.7m	本	1	
	D32（SD490）	L=4.7m	本	1	
	D32（SD490）	L=3.7m	本	1	
	D32（SD490）	L=3.2m	本	3	
	D32（SD490）	L=3.7m	本	1	
	D32（SD490）	L=3.7m	本	2	
削孔長	φ 90mm		m	114.5	
	φ 115mm		m	32.0	
ナット（上部）	D32用		個	18	
ナット（下部）	D32用		個	18	
ワッシャ	D32用		個	27	
球面ワッシャ	D32用		個	9	
カプラー	D32用		個	12	
補強鋼管	STPG370, φ76.3×t7.0, L=1500		本	10	
頭部保護キャップ			個	18	
充填剤	333mℓ/本		本	18	
孔壁保護管	φ70 mmメッシュ管		本	81	
スペーサー	ワイヤロープアンカー用		個	42	
	全ねじ異形棒鋼用		個	45	
グラウト量	サポートロープアンカー		m <sup>3</sup>	0.5	
	リテイニングロープアンカー		m <sup>3</sup>	0.9	
	ダウンスロープアンカー		m <sup>3</sup>	0.1	
	支柱基礎反力体（山側）		m <sup>3</sup>	0.9	
	支柱基礎反力体（谷側）		m <sup>3</sup>	1.1	
足場空m <sup>3</sup>			空m <sup>3</sup>	651	

※施工時においては、地形状況に合わせるため、各ワイヤロープ長を変更する場合もある。

## 1. 支柱アッセンブリー

h= 3.0 m : 9 (組)

※支柱アッセンブリー：支柱及び支柱とグラウンドプレートを接続する接続部材を組み合わせた一式を意味する。

## 2. グラウンドプレート

グラウンドプレート GP-1-IB タイプ 9 (体)

## 3. リングネット

リングネットタイプ： ROCC012/3/300

リングネットタイプ	H(m)	L(m)	1枚当り面積 (m <sup>2</sup> )	パネル数 (枚)	延面積 (m <sup>2</sup> )
ROCC012/3/300	3.0	3	9	1	9
	3.0	4	12	2	24
	3.0	5	15	5	75
合 計					108

※1パネルサイズ=H：高さ×L：横幅

## 4. ワイヤメッシュ φ2.4×50 1ロール：1.75×25.0(m)

ネット必要列数： 柵延長 / (1.75 - 0.7)  
= 41 / 1.05 = 40 (列)

必要ロール数： ネット必要列数 × (H + 0.15 + 0.5) / 25  
= 40 × 3.65 / 25 = 5.84 (ロール)

※横方向重ね70cm、上部折り返し15cm、下部張り出し50cm考慮する。

必要ロール数： = 5.84 ≒ 6 (ロール)

## 5. ワイヤメッシュ接続針金 L=120mm

接続個所数： 8 (個所/m<sup>2</sup>)

必要個数： 3.0 × 8 × 41 = 984 (個)

## 6. ワイヤロープ長

(1) リプレイスロープ, サポートロープ  $\phi$  G22 mm

### ①リプレイスロープ (A-1)

1本当たりの必要長 (L)

$$L = 1.5 \text{ (m)}$$

### ②上部サポートロープ (A-2)

設置長 ( $l_1$ )

$$l_1 = 4.8 + 41.0 + 4.8 = 50.6 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2 \text{ m}) \\ &= 50.6 + 1.2 = 51.8 \approx 52.0 \text{ (m)} \end{aligned}$$

### ③リプレイスロープ (B-1)

1本当たりの必要長 (L)

$$L = 1.5 \text{ (m)}$$

### ④下部サポートロープ (B-2)

設置長 ( $l_1$ )

$$l_1 = 1.5 + 41.0 + 1.5 = 44.0 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2 \text{ m}) \\ &= 44.0 + 1.2 = 45.2 \approx 45.5 \text{ (m)} \end{aligned}$$

(2) ラテラルロープ

### ①ラテラルロープ (C-1) $\phi$ 22 mm

設置長 ( $l_1$ )

$$l_1 = 4.6 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2 \text{ m}) \\ &= 4.6 + 1.2 = 5.8 \approx 6.0 \text{ (m)} \end{aligned}$$

### ②ラテラルロープ (C-2) $\phi$ 22 mm

設置長 ( $l_1$ )

$$l_1 = 4.7 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2 \text{ m}) \\ &= 4.7 + 1.2 = 5.9 \approx 6.0 \text{ (m)} \end{aligned}$$

(3) リテイニングロープ

①リテイニングロープ (D-1)       $\phi$  18 mm

設置長 ( $l_1$ )

$$l_1 = 9.5 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.0 \text{ m}) \\ &= 9.5 + 1.0 = 10.5 \cong 10.5 \text{ (m)} \end{aligned}$$

②リテイニングロープ (D-2)       $\phi$  G22 mm

設置長 ( $l_1$ )

$$l_1 = 5.8 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2 \text{ m}) \\ &= 5.8 + 1.2 = 7.0 \cong 7.0 \text{ (m)} \end{aligned}$$

③リテイニングロープ (D-3)       $\phi$  G22 mm

設置長 ( $l_1$ )

$$l_1 = 6.2 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2 \text{ m}) \\ &= 6.2 + 1.2 = 7.4 \cong 7.5 \text{ (m)} \end{aligned}$$

④リテイニングロープ (D-4)       $\phi$  G22 mm

設置長 ( $l_1$ )

$$l_1 = 5.7 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2 \text{ m}) \\ &= 5.7 + 1.2 = 6.9 \cong 7.0 \text{ (m)} \end{aligned}$$

⑤リテイニングロープ (D-5)       $\phi$  G22 mm

設置長 ( $l_1$ )

$$l_1 = 6.1 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2 \text{ m}) \\ &= 6.1 + 1.2 = 7.3 \cong 7.5 \text{ (m)} \end{aligned}$$

⑥リテイニングロープ (D-6)       $\phi$  G22 mm

設置長 ( $l_1$ )

$$l_1 = 7.4 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2 \text{ m}) \\ &= 7.4 + 1.2 = 8.6 \cong 9.0 \text{ (m)} \end{aligned}$$

⑦リテイニングロープ (D-7)  $\phi$  G22 mm

設置長 ( $l_1$ )

$$l_1 = 7.5 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2 \text{ m}) \\ &= 7.5 + 1.2 = 8.7 \cong 9.0 \text{ (m)} \end{aligned}$$

⑧リテイニングロープ (D-8)  $\phi$  G22 mm

設置長 ( $l_1$ )

$$l_1 = 7.0 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.2 \text{ m}) \\ &= 7.0 + 1.2 = 8.2 \cong 8.5 \text{ (m)} \end{aligned}$$

⑨リテイニングロープ (D-10)  $\phi$  18 mm

設置長 ( $l_1$ )

$$l_1 = 5.4 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.0 \text{ m}) \\ &= 5.4 + 1.0 = 6.4 \cong 6.5 \text{ (m)} \end{aligned}$$

(4) バーチカルロープ  $\phi$  G22 mm

①バーチカルロープ (E-1)

設置長 ( $l_1$ )

$$\begin{aligned} l_1 &= 3.2 \times 2 \\ &= 6.4 \cong 6.5 \text{ (m)} \end{aligned}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.0 \text{ m}) \\ &= 6.5 + 1.0 = 7.5 \text{ (m)} \end{aligned}$$

(5) ダウンスロープリテイニングロープ

①ダウンスロープリテイニングロープ (F-1) φ 16 mm

設置長 (l<sub>1</sub>)

$$l_1 = 3.2 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.0 \text{ m}) \\ &= 3.2 + 1.0 = 4.2 \approx 4.5 \text{ (m)} \end{aligned}$$

(6) 支柱保持ロープ φ 14 mm ※ ダウンスロープリテイニングロープ設置箇所と

①支柱保持ロープ (G-1)

設置ラインが谷側へ折れ曲がる箇所を除く。

設置長 (l<sub>1</sub>)

$$l_1 = 1.0 \text{ (m)}$$

1本当たりの必要長 (L)

$$\begin{aligned} L &= l_1 + l_2 \quad (l_2: \text{締め付け余長 } 1.0 \text{ m}) \\ &= 1.0 + 1.0 = 2.0 \approx 2.0 \text{ (m)} \end{aligned}$$

(7) ワイヤロープ数量表

ワイヤロープ数量表 (φ 14 mm)

ワイヤロープ区分		1本当たりのロープ 必要長 (m)	ロープ 本数	ワイヤロープ 延長 (m)
支柱保持ロープ	G-1	2.0	7	14.0
合 計				14.0

ワイヤロープ数量表 (φ 16 mm)

ワイヤロープ区分		1本当たりのロープ 必要長 (m)	ロープ 本数	ワイヤロープ 延長 (m)
ダウンスロープ リテイニングロープ	F-1	4.5	1	4.5
合 計				4.5

ワイヤロープ数量表 (φ 18 mm)

ワイヤロープ区分		1本当たりのロープ 必要長 (m)	ロープ 本数	ワイヤロープ 延長 (m)
端末部リテイニングロープ	D-1	10.5	1	10.5
	D-10	6.5	1	6.5
合 計				17.0

ワイヤロープ数量表 (φ 22 mm)

ワイヤロープ区分		1本当りのロープ 必要長 (m)	ロープ 本数	ワイヤロープ 延長 (m)
ラテラルロープ	C-1	6.0	1	6.0
	C-2	6.0	1	6.0
合 計				12.0

ワイヤロープ数量表 (φ G22 mm)

ワイヤロープ区分		1本当りのロープ 必要長 (m)	ロープ 本数	ワイヤロープ 延長 (m)
リプレイスロープ	A-1	1.5	2	3.0
上部サポートロープ	A-2	52.0	1	52.0
リプレイスロープ	B-1	1.5	2	3.0
下部サポートロープ	B-2	45.5	1	45.5
中間部リテイニングロープ	D-2	7.0	1	7.0
	D-3	7.5	1	7.5
	D-4	7.0	1	7.0
	D-5	7.5	1	7.5
	D-6	9.0	1	9.0
	D-7	9.0	1	9.0
	D-8	8.5	1	8.5
D-9	7.5	1	7.5	
バーチカルロープ	E-1	7.5	2	15.0
合 計				181.5

## 7. ブレーキリング

### ブレーキリングの種類

GS-8000 ブレーキリング	(ワイヤロープφ12mm, φ14mm対応)
GS-8001 ブレーキリング	(ワイヤロープφ16mm, φ18mm対応)
GS-8002 ブレーキリング	(ワイヤロープφ20mm, φ22mm対応)
GN-9017 ブレーキリング	(ワイヤロープφG22mm対応)

### ブレーキリング数量表

ワイヤロープ区分		1本当たりの ブレーキリング数 (個)			ロープ 本数 (本)	延べブレーキリング数 (個)		
		GS-8001	GS-8002	GN-9017		GS-8001	GS-8002	GN-9017
リプレイスロープ	A-1	-	-	1	2	-	-	2
	B-1	-	-	1	2	-	-	2
リテイニングロープ	端末	1	-	-	2	2	-	-
	中間	-	-	1	8	-	-	8
合 計						2	0	12

## 8. ワイヤクリップ数

### FF-C-450ワイヤクリップ種類

7/16"	(ワイヤロープφ12mm対応)
9/16"	(ワイヤロープφ14mm対応)
5/8"	(ワイヤロープφ16mm対応)
3/4"	(ワイヤロープφ18mm, φ20mm対応)
7/8"	(ワイヤロープφ22mm, φG22mm対応)

### EN13411-5ワイヤクリップ種類

NG13	(ワイヤロープφ12mm対応)
NG16	(ワイヤロープφ14mm, φ16mm対応)
NG19	(ワイヤロープφ18mm対応)
NG22	(ワイヤロープφ20mm, φ22mm, φG22mm対応)

#### (1) ワイヤロープ固定用 FF-C-450ワイヤクリップ数量表 (※バーチカルロープを除く)

ワイヤロープ区分	ロープ径 (mm)	1本当たりのクリップ数 (個)					ロープ 本数(本)	延べクリップ数 (個)				
		7/16"	9/16"	5/8"	3/4"	7/8"		7/16"	9/16"	5/8"	3/4"	7/8"
上部サポートロープ	A φ G22 mm	-	-	-	-	5	1	-	-	-	-	5
下部サポートロープ	B φ G22 mm	-	-	-	-	5	1	-	-	-	-	5
ラテラルロープ	C φ 22 mm	-	-	-	-	4	2	-	-	-	-	8
リテイニングロープ	D φ 18 mm	-	-	-	4	-	2	-	-	-	8	-
	φ G22 mm	-	-	-	-	5	8	-	-	-	-	40
ダウンスロープ リテイニングロープ	G φ 16 mm	-	-	3	-	-	1	-	-	3	-	-
支柱保持ロープ	H φ 14 mm	-	3	-	-	-	7	-	21	-	-	-
合 計								0	21	3	8	58

#### (2) バーチカルロープ固定用 EN13411-5ワイヤクリップ

EN13411-5ワイヤクリップ仕様 : NG22

1本当たりのクリップ数 : 2 (個)

バーチカルロープ本数 : 2 (本)

2 (個/本) × 2 (本) = 4 (個)

## 9. シャックル数

- ・ リングネットパネル連結用シャックル NG5/8"

シャックル数量表

区分	パネルサイズ (縦m×横m)	対パーティカル ロープ連結用	対サポート ロープ連結用	対リング ネット連結用	パネル 数	延べ シャックル数
左端末 (5m)	3.0 × 5.0	8	30	15	1	53
中間 (4m)	3.0 × 4.0	-	24	15	2	78
中間 (5m)	3.0 × 5.0	-	30	15	5	225
右端末 (3m)	3.0 × 3.0	8	18	-	1	26
合 計						382

- ・ リプレイスロープ～サポートロープ連結用シャックル NG1"

必要個数＝リプレイスロープ本数： 4 (個)

- ・ リプレイスロープ～ワイヤロープアンカー連結用シャックル NG1"

必要個数＝リプレイスロープ本数： 4 (個)

- ・ 支柱保持ロープ連結用シャックル NG5/8"

必要個数＝支柱保持ロープ本数×2： 14 (個)

## 10. シンプル

仕様： φ G22 mm用

必要個数＝サポートロープ本数： 2 (個)

## 1 1. ワイヤロープアンカー及び支柱基礎反力体

### (1) 鋼材長

#### ①ワイヤロープアンカー

- ・ 上部サポートロープアンカー  $\phi$  14.5 mm $\times$ 2  
5.5 (m/本)  $\times$  1 (本) = 5.5 (m) : P1側
- ・ 上部サポートロープアンカー  $\phi$  14.5 mm $\times$ 2  
5.0 (m/本)  $\times$  1 (本) = 5.0 (m) : P10側
- ・ 下部サポートロープアンカー  $\phi$  18.5 mm $\times$ 2  
6.0 (m/本)  $\times$  1 (本) = 6.0 (m) : P1側
- ・ 下部サポートロープアンカー  $\phi$  18.5 mm $\times$ 2  
6.0 (m/本)  $\times$  1 (本) = 6.0 (m) : P10側
- ・ 端末部リテイニングロープアンカ-  $\phi$  10.5 mm $\times$ 2  
5.0 (m/本)  $\times$  1 (本) = 5.0 (m) : P1
- ・ 端末部リテイニングロープアンカ-  $\phi$  10.5 mm $\times$ 2  
4.5 (m/本)  $\times$  1 (本) = 4.5 (m) : P10
- ・ 中間部リテイニングロープアンカ-  $\phi$  14.5 mm $\times$ 2  
5.5 (m/本)  $\times$  1 (本) = 5.5 (m) : P2
- ・ 中間部リテイニングロープアンカ-  $\phi$  14.5 mm $\times$ 2  
5.0 (m/本)  $\times$  3 (本) = 15.0 (m) : P3~P5
- ・ 中間部リテイニングロープアンカ-  $\phi$  14.5 mm $\times$ 2  
6.0 (m/本)  $\times$  1 (本) = 6.0 (m) : P6
- ・ 中間部リテイニングロープアンカ-  $\phi$  14.5 mm $\times$ 2  
5.0 (m/本)  $\times$  2 (本) = 10.0 (m) : P7~P8
- ・ ダウンスロープアンカー  $\phi$  10.5 mm $\times$ 2  
4.0 (m/本)  $\times$  1 (本) = 4.0 (m) : P2

②全ねじ異形棒鋼 D32 (SD490)

鋼材長=設置長+設置余長 (0.2m)

山側 : 4.2 (m/本) × 1 (本) = 4.2 (m) : P1  
4.2 (m/本) × 1 (本) = 4.2 (m) : P10  
5.2 (m/本) × 1 (本) = 5.2 (m) : P2  
4.7 (m/本) × 3 (本) = 14.1 (m) : P3~P5  
5.7 (m/本) × 1 (本) = 5.7 (m) : P6  
5.2 (m/本) × 2 (本) = 10.4 (m) : P7~P8

谷側 : 4.7 (m/本) × 1 (本) = 4.7 (m) : P1  
4.7 (m/本) × 1 (本) = 4.7 (m) : P10  
3.7 (m/本) × 1 (本) = 3.7 (m) : P2  
3.2 (m/本) × 3 (本) = 9.6 (m) : P3~P5  
3.7 (m/本) × 1 (本) = 3.7 (m) : P6  
3.7 (m/本) × 2 (本) = 7.4 (m) : P7~P8

※設置長=削孔長となる。

## (2) 削孔長

※下表に表示している定着長の土質は、設計時風化岩であるが積算上は軟岩で行うため表記を軟岩とする。

削孔長数量表 (φ 90 mm)

反力体区分		1本当りの削孔長			本数 (本)	延べ削孔長 (m)	
		設置長	定着長 (軟岩)	定着外余長 (レキ質土)		定着長 (軟岩)	定着外余長 (レキ質土)
上部サポートロープアンカー	P1側	5.5	2.5	3.0	1	2.5	3.0
	P10側	5.0	2.5	2.5	1	2.5	2.5
下部サポートロープアンカー	P1側	6.0	2.5	3.5	1	2.5	3.5
	P10側	6.0	2.5	3.5	1	2.5	3.5
端末部リテイニングロープアンカー	P1	5.0	2.0	3.0	1	2.0	3.0
	P10	4.5	2.0	2.5	1	2.0	2.5
中間部リテイニングロープアンカー	P2	5.5	2.5	3.0	1	2.5	3.0
	P3~P5	5.0	2.5	2.5	3	7.5	7.5
	P6	6.0	2.5	3.5	1	2.5	3.5
	P7~P8	5.0	2.5	2.5	2	5.0	5.0
ダウンスロープアンカー	P2	4.0	1.0	3.0	1	1.0	3.0
全ねじ異形棒鋼(山側)	P1	4.0	1.5	2.5	1	1.5	2.5
	P10	4.0	1.5	2.5	1	1.5	2.5
	P2	5.0	2.5	2.5	1	2.5	2.5
	P3~P5	4.5	2.5	2.0	3	7.5	6.0
	P6	5.5	2.5	3.0	1	2.5	3.0
	P7~P8	5.0	2.5	2.5	2	5.0	5.0
合 計						53.0	61.5
削孔長延長						114.5	

削孔長数量表 (φ 115 mm)

反力体区分		1本当りの削孔長			本数 (本)	延べ削孔長 (m)	
		設置長	定着長 (軟岩)	定着外余長 (レキ質土)		定着長 (軟岩)	定着外余長 (レキ質土)
全ねじ異形棒鋼(谷側)	P1	4.5	2.0	2.5	1	2.0	2.5
	P10	4.5	2.0	2.5	1	2.0	2.5
	P2	3.5	1.0	2.5	1	1.0	2.5
	P3~P5	3.0	1.0	2.0	3	3.0	6.0
	P6	3.5	1.0	2.5	1	1.0	2.5
	P7~P8	3.5	1.0	2.5	2	2.0	5.0
合 計						11.0	21.0
削孔長延長						32.0	

## 12. 各反力体付属部材

### ・全ねじ異形棒鋼付属部材

ナット（上部） D32用

必要個数＝全ねじ異形棒鋼設置本数： 18（個）

ナット（下部） D32用

必要個数＝全ねじ異形棒鋼設置本数： 18（個）

ワッシャ D32用

必要個数＝全ねじ異形棒鋼（山側）設置本数×2＋全ねじ異形棒鋼（谷側）設置本数  
： 27（個）

球面ワッシャ

必要個数＝全ねじ異形棒鋼（谷側）設置本数： 9（個）

### カプラー

全ねじ異形棒鋼 全長（m）	カプラー個数 （個）
0.0～4.0	-
4.1～8.0	1
8.1～12.0	2

山側： 1 個 × 10 本 = 10 個  
2 個 × 0 本 = 0 個  
谷側： 1 個 × 2 本 = 2 個  
12 個

※カプラーは、現地状況（搬入など）によって異なるが、当地においては上表を一応の目安に算出するものとし、実施工時においては変更する場合がある。

### 補強鋼管

必要本数＝全ねじ異形棒鋼（谷側）設置本数＋全ねじ異形PC鋼棒（谷側）設置本数： 10（本）

STPG370、φ76.3×t7.0、L=1500 : 10（本）

S45C、φ76.3×t7.0、L=1500 : 0（本）

S45C、φ76.3×t10.0、L=1500 : 0（本）

### 頭部保護キャップ

頭部保護キャップ必要個数＝全ねじ異形棒鋼設置本数： 18（個）

充填剤（保護キャップ設置用） 1箇所あたり1本（333mL/本）

充填剤必要本数＝頭部保護キャップ数： 18（本）

### 孔壁保護管（φ 70 mm）

ワイヤロープアンカー 区分	延べ削孔長	1本当り長さ	設置本数
サポートロープアンカー	22.5 (m)	0.91 (m/本)	25 (本)
リテイニングロープアンカー	46.0 (m)	0.91 (m/本)	51 (本)
ダウンスロープアンカー	4.0 (m)	0.91 (m/本)	5 (本)
合 計			81 (本)

スペーサー（ワイヤロープアンカー用）

先端より0.5mの位置から最大ピッチ2.5mで設置する。また最低個数は1本当たり2個以上とする。

反力体区分	アンカー設置長	アンカー 1本あたり個数	アンカー 本数	設置個数
上部サポートロープアンカー	: 5.5 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
	: 5.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
下部サポートロープアンカー	: 6.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
	: 6.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
端末部リテイニングロープアンカー	: 5.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
	: 4.5 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
中間部リテイニングロープアンカー	: 5.5 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
	: 5.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	3 (本) =	9 (個)
	: 6.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
	: 5.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	2 (本) =	6 (個)
ダウンスロープアンカー	: 4.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
合 計				42 (個)

スペーサー（全ねじ異形棒鋼用，全ねじ異形PC鋼棒用）

先端より0.5mの位置から最大ピッチ2.5mで設置する。また最低個数は1本当たり2個以上とする。

反力体区分	アンカー設置長	アンカー 1本あたり個数	アンカー 本数	設置個数
全ねじ異形棒鋼（山側）	: 4.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
	: 4.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
	: 5.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
	: 4.5 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	3 (本) =	9 (個)
	: 5.5 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	1 (本) =	3 (個)
	: 5.0 (m/本) ⇒	3 (個/本) ×	2 (本) =	6 (個)
全ねじ異形棒鋼（谷側）	: 4.5 (m/本) ⇒	2 (個/本) ×	1 (本) =	2 (個)
	: 4.5 (m/本) ⇒	2 (個/本) ×	1 (本) =	2 (個)
	: 3.5 (m/本) ⇒	2 (個/本) ×	1 (本) =	2 (個)
	: 3.0 (m/本) ⇒	2 (個/本) ×	3 (本) =	6 (個)
	: 3.5 (m/本) ⇒	2 (個/本) ×	1 (本) =	2 (個)
	: 3.5 (m/本) ⇒	2 (個/本) ×	2 (本) =	4 (個)
合 計				45 (個)

### 13. グラウト量

グラウト量は、以下に示す国土交通省土木工事積算基準（H21（財）建設物価調査会 P.167より抜粋）に従い算出する。

(3) 材料使用量及び補正係数（参考）

1) グラウトの使用量

グラウトの使用量は、次表を参考とする。

$$V = \frac{D^2 \times \pi}{4 \times 10^6} \times L \times (1 + K) \quad \dots\dots \text{式3.1}$$

V：注入量（ $\text{m}^3$ ）

D：ドリルパイプの外径（mm）

L：削孔長（m）

K：補正係数

(注) 設計における補正係数は、2.2を標準とする。ただし、過去の実績や土質条件等により本係数を使用することが不合理である場合は、別途考慮する。

・ サポートロープアンカー

削孔径： 90 (mm)

削孔延長： 22.5 (m)

$$\begin{aligned} V &= 90^2 \times \pi / 4 / 10^6 \times 22.5 \times (1 + 2.2) \\ &= 0.46 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

・ リテイニングロープアンカー

削孔径： 90 (mm)

削孔延長： 46.0 (m)

$$\begin{aligned} V &= 90^2 \times \pi / 4 / 10^6 \times 46.0 \times (1 + 2.2) \\ &= 0.94 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

・ ダウンスロープアンカー

削孔径： 90 (mm)

削孔延長： 4.0 (m)

$$\begin{aligned} V &= 90^2 \times \pi / 4 / 10^6 \times 4.0 \times (1 + 2.2) \\ &= 0.08 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

・ 支柱基礎反力体（山側）

削孔径： 90 (mm)

削孔延長： 42.0 (m)

$$\begin{aligned} V &= 90^2 \times \pi / 4 / 10^6 \times 42.0 \times (1 + 2.2) \\ &= 0.86 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

・ 支柱基礎反力体（谷側）

削孔径： 115 (mm)

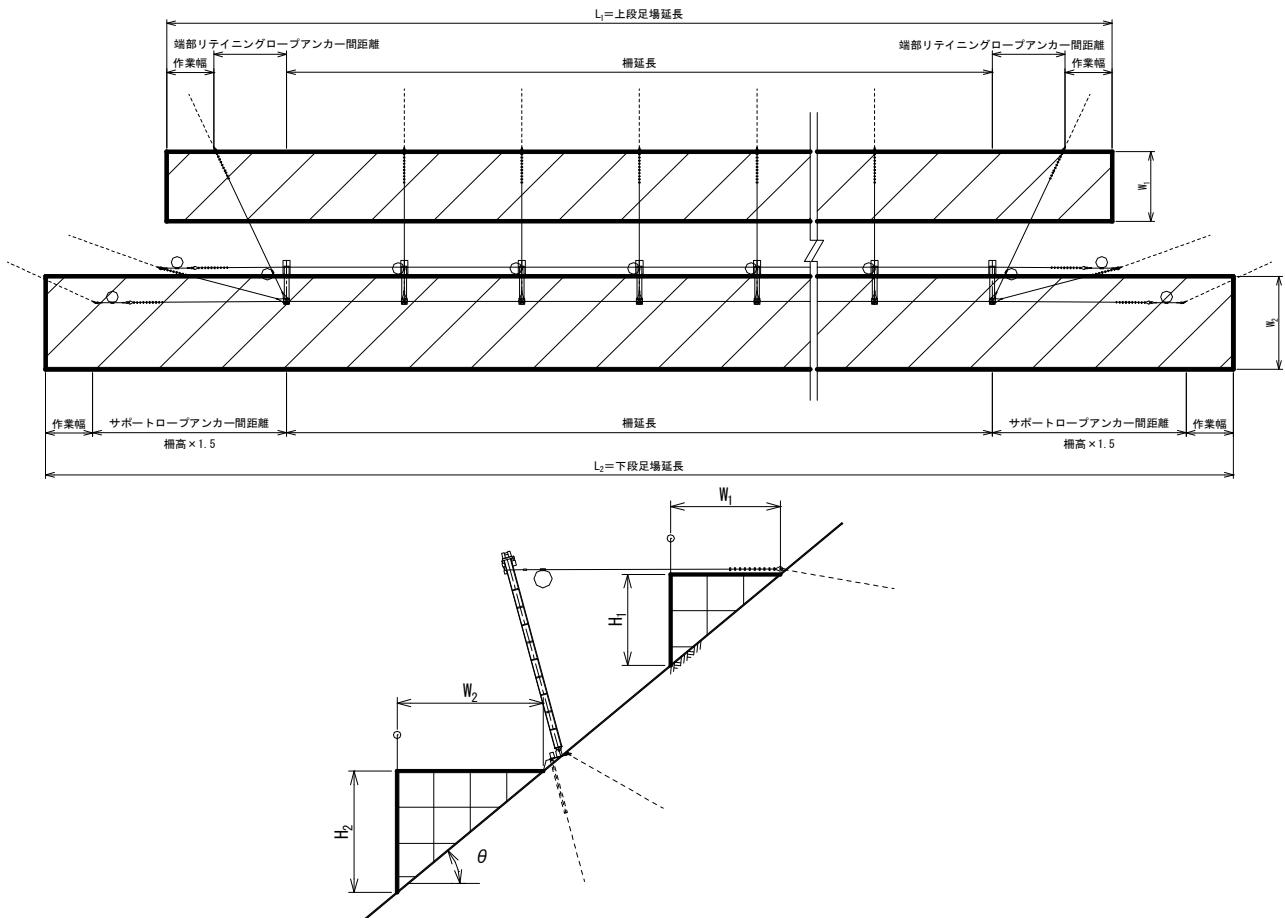
削孔延長： 32.0 (m)

$$\begin{aligned} V &= 115^2 \times \pi / 4 / 10^6 \times 32.0 \times (1 + 2.2) \\ &= 1.06 \text{ m}^3 \end{aligned}$$

総グラウト量： 3.40  $\text{m}^3$

#### 1 4. 足場空<sup>3</sup>

仮設足場の数量は、足場面積×柵延長にて算出する。



##### ・ 上段足場（リテイニングロープ削孔用足場）

足場幅： $W_1 = 3.0$  m

勾配： $\theta = 45^\circ$

足場高： $H_1 = W_1 \times \tan 45^\circ = 3.0$  m

足場面積： $A_1 = 3.0$  (m)  $\times$   $3.0$  (m) / 2 =  $4.5$  (m<sup>2</sup>)

足場延長： $L_1 =$  柵延長 + 両端部リテイニングロープアンカー間距離 + 作業幅  
 $= 41 + 2.8 + 1.0 + 2.0 \times 2 = 48.8$  m

足場空<sup>3</sup>： $A_1 \times L_1 = 4.5 \times 48.8 = 219.6$  (空<sup>3</sup>)

##### ・ 下段足場（支柱建て込み及びサポートロープアンカー削孔用足場）

足場幅： $W_2 = 4.0$  m

勾配： $\theta = 45^\circ$

足場高： $H_2 = W_2 \times \tan 45^\circ = 4.0$  m

足場面積： $A_2 = 4.0$  (m)  $\times$   $4.0$  (m) / 2 =  $8.0$  (m<sup>2</sup>)

足場延長： $L_2 =$  柵延長 + 両端部サポートロープアンカー間距離 + 作業幅  
 $= 41 + 4.5 + 4.5 + 2.0 \times 2 = 54.0$  m

足場空<sup>3</sup>： $A_2 \times L_2 = 8.0 \times 54.0 = 432.0$  (空<sup>3</sup>)

総足場空<sup>3</sup>： $219.6 + 432.0 = 651.6 \doteq 651$  (空<sup>3</sup>)

## 張コンクリート 計算書

張コンクリート

A=	~No.3	$1.6 \times 0.4 =$	$0.64 \text{ m}^2$
	~No.3+10.0	$1.5 \times 5.0 =$	$7.50 \text{ m}^2$
	~No.4	$1.7 \times 8.0 =$	$13.60 \text{ m}^2$
	~No.4+10.0	$1.7 \times 10.1 =$	$17.17 \text{ m}^2$
	~No.5	$1.7 \times 10.1 =$	$17.17 \text{ m}^2$
	~No.5+7.3	$1.7 \times 7.4 =$	$12.58 \text{ m}^2$
		合計	$68.66 \text{ m}^2$
V=	$68.66 \times 0.10$	=	$6.9 \text{ m}^3$

型 枠

L1=	41.0	=	41.0 m
L2=		=	0.0 m
		合計	41.0 m
A=	$41.0 \times 0.10$	=	$4.1 \text{ m}^2$

急傾斜地崩壊対策事業（笹原地区） 数量計算表

【D箇所】

レベル1(工事区分) 道路改良

レベル2(工種) 土工

レベル3(種別)	レベル4(細別)	レベル5(規格)	積算用 単位	数量計 算用単 位	数量区分	合計						内訳数量表 別紙	備 考
作業土工			式	m3									
	掘削(土砂)		m3	m3	合計	29.3	29.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
					片切部	砂・砂質土	0.0						
						粘性土	0.0						
						礫質土	29.3	29.3					
						岩塊・玉石	0.0						
	埋戻(D)		m3	m3	合計	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	片切部				軟岩1	5.0	5.0						
					軟岩2	0.0							
	基面整正(D)		m2	m2	合計	42.7	42.7	0.0	0.0	0.0	0.0		
	片切部				軟岩1	42.7	42.7						
					軟岩2	0.0							
	埋戻コンクリート		m3	m3	合計	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0		
片切部	軟岩1				6.3	6.3							
	軟岩2				0.0								
残土処理工			式	m3									
	残土処理		m3	m3	合計	23.7	23.7	0.0	0.0	0.0	0.0		
					片切部	砂・砂質土	0.0						
						粘性土	0.0						
						レキ質土	23.7	23.7					
						軟岩	0.0						
						硬岩	0.0						
						岩塊・玉石	0.0						

# 土量配分

発生土(土砂)

掘削 = 0.0 m<sup>3</sup>

床掘 = 29.3 m<sup>3</sup>

合計 = 29.3 m<sup>3</sup>

必要土

埋戻(D) = 5.0 m<sup>3</sup>

合計 = 5.0 m<sup>3</sup>

残土処分

(土砂) 発生土 - 流用土 × 1/変化率

$$V = 29.3 - 5.0 \times 1/0.9 = 23.7 \text{ m}^3$$

レベル1(工事区分) 道路改良

レベル2(工種) 擁壁工

レベル3(種別)	レベル4(細別)	レベル5(規格)	積算用 単位	数量計 算用単 位	数 量 区 分	合計						内訳数量表 別紙	備 考
場所打擁壁工			式										
	待受擁壁工		m	m	合 計	14.1	14.1	0.0	0.0	0.0	0.0		
		H=3.0m				0.0						1-2	
		H=3.5m				14.1	14.1						
		H=4.5m				0.0							
		H=すり付け部				0.0							
						0.0							

## 延 長 調 書

待受擁壁工 H=3.5								
測 点	m	(小計)	測 点	m	(小計)	測 点	m	(小計)
NO. 12+10.00	4.1							
NO. 13	10.0	14.1						
合 計		14.1	合 計		0.0	合 計		0.0



レベル1(工事区分) 道路改良

レベル2(工種) 落石防止工

レベル3(種別)	レベル4(細別)	レベル5(規格)	積算用 単位	数量計 算用単 位	数 量 区 分	合計						内訳数量表 別紙	備 考
落石防護柵工			式	m									
	落石防護柵	H=1.5m	m	m	合 計	14.8	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0		
						14.8	14.8						
						0.0							

## 作業土工 集計表

作業土工

種別 場所	床堀(土砂)	床堀(軟岩)	埋 戻 (種別D)	基面整正	埋戻コンクリート
D箇所	29.3	—	5.0	42.7	6.3
					—
					—
計	29.3 m <sup>3</sup>	0.0 m <sup>3</sup>	5.0 m <sup>3</sup>	42.7 m <sup>2</sup>	6.3 m <sup>3</sup>





作業土工 (待受擁壁工)

計 算 書

測 点	距 離	埋戻コンクリート			断面	平均	立 積	摘 要
		断 面	平 均	立 積				
	0.0	0.4						
NO. 12+10.00	5.8	0.4	0.40	2.3				
NO. 13	10.0	0.4	0.40	4.0				
合 計				6.3			0.0	

レベル1(工事区分) 道路改良

レベル2(工種) 排水構造物工

レベル3(種別)	レベル4(細別)	レベル5(規格)	積算用 単位	数量計 算用単 位	数 量 区 分	合計						内訳数量表 別紙	備 考
排水工			式										
	プレキャストU型側溝		m	m	合 計	24.6	24.6	0.0	0.0	0.0	0.0		
		PU1-B300-H300(A)			一般部	24.6	24.6					2-1	
集水樹工			式	箇所									
	1-1号集水樹		箇所	箇所	合 計	1	1	0	0	0	0		
		18N/mm2				1	1					2-4	
	3-1号集水樹		箇所	箇所	合 計	1	1	0	0	0	0		
		18N/mm2				1	1					2-5	













レベル1(工事区分) 道路改良

レベル2(工種) 構造物撤去工

レベル3(種別)	レベル4(細別)	レベル5(規格)	積算用 単位	数量計 算用単 位	数量区分						合計	内訳数量表 別紙	備 考				
構造物取壊し工			式														
	コンクリート構造物取 壊し		m3	m3	合 計						9.3	9.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
					無筋構造物	H<-5m						0.0					H:施工基面からの高さ
						-5m≤H≤5m						9.3	9.3				
						5m<H						0.0					
運搬処理工			式	m3													
	般運搬処理		m3	m3	合 計						9.3	9.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
		コンクリート										9.3	9.3				
												0.0					

構造物取壊し工

計 算 書

測 点	距 離	コンクリート取壊し C(Co)			コンクリート殻処分		摘 要
		断 面	平 均	立 積		立積合計	
		0.0					
NO. 12+10.00	3.6	0.6	0.30	1.1			
NO. 13	10.0	0.8	0.70	7.0			
	3.1	0.0	0.40	1.2			
合 計				9.3		9.3	

## 撤去工 集計表

### 構造物取壊し工

種別 場所	コンクリート取壊	ブロック取壊	石積取壊	アスファルト舗装 取壊	
	9.3	—	—	—	
計	9.3 m <sup>3</sup>	0.0 m <sup>2</sup>	0.0 m <sup>2</sup>	0.0 m <sup>2</sup>	

### 殻処分

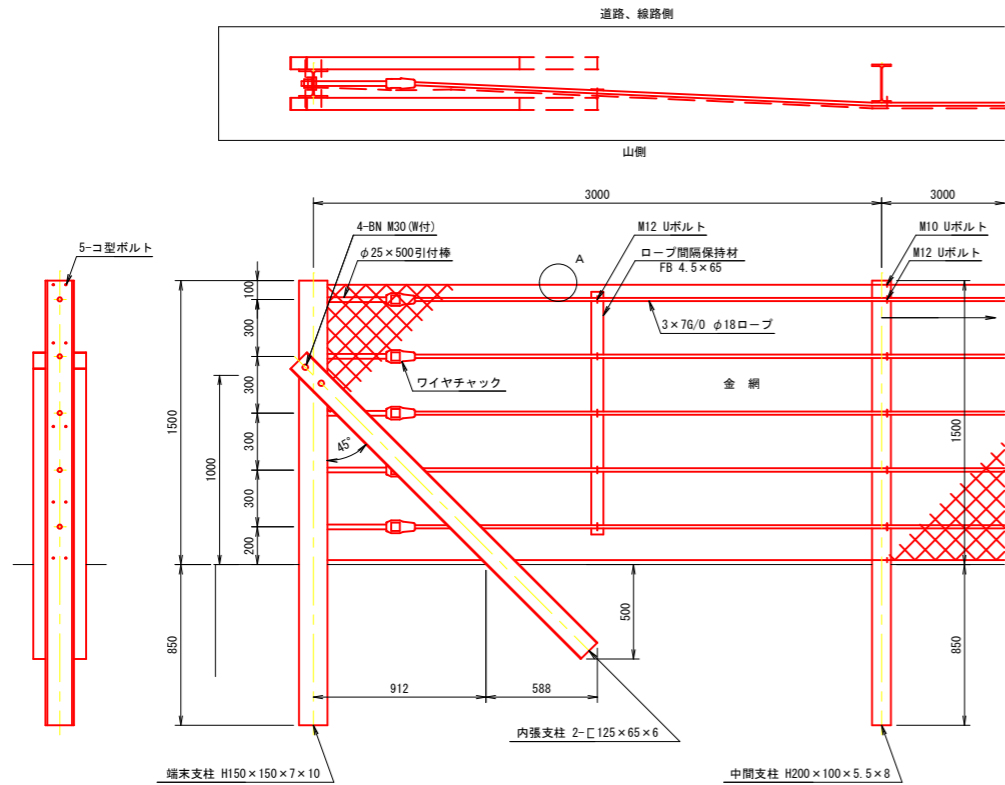
種別 場所	コンクリート殻処分 (コンクリート取壊)	コンクリート殻処分 (ブロック取壊)	石殻処分	アスファルト殻処分	
	9.3	—	—	—	
計	9.3 m <sup>3</sup>	0.0 m <sup>3</sup>	0.0 m <sup>3</sup>	0.0 m <sup>3</sup>	

図面番号	1/6	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	構造図	標準	1/1
路線 河川名	笹原地区		
工事箇所	三原市本郷町上北方		
	三原市		

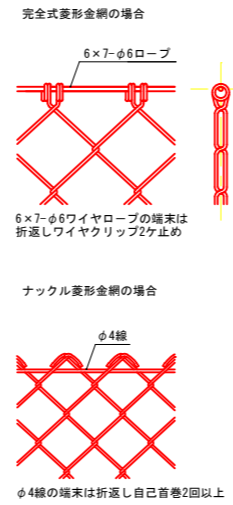
# 構造図 (2/5)

## 落石防護柵

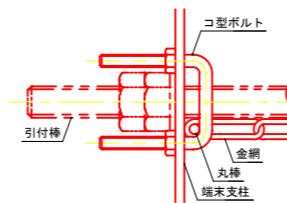
S=1:20



A部詳細図 S=1:5

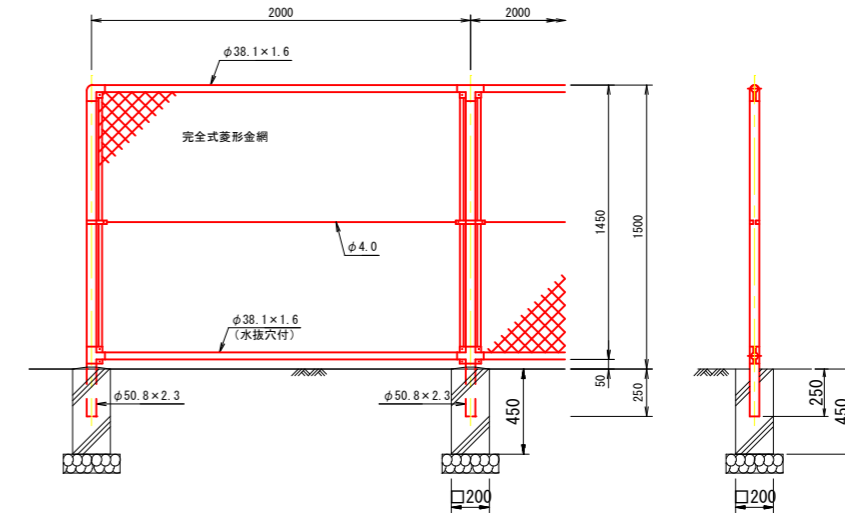


金網端部処理図 S=1:3



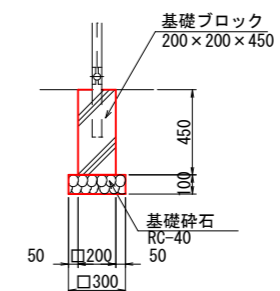
## フェンス

S=1:20



## フェンス基礎

S=1:20

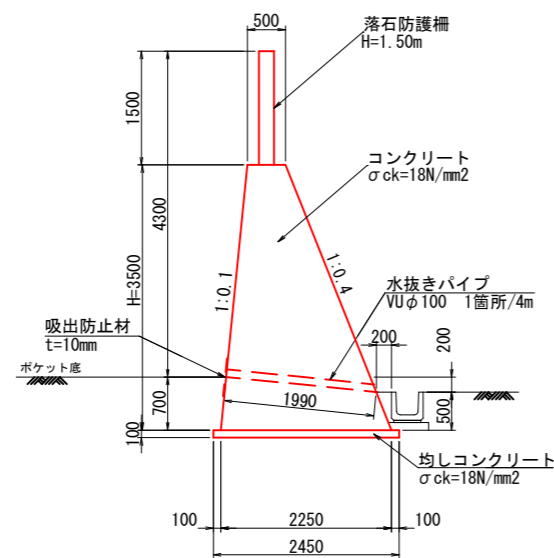


数量表 1箇所当り

種別	規格	算式	数量
基礎ブロック	200 x 200 x 450		1.0個
基礎砕石	RC-40 t=100	0.30 x 0.30	0.1m <sup>2</sup>

## 待受擁壁工 (H=3.5m)

S=1:50



数量表		10m当り	
種別	規格	算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	(0.50+2.25)/2 x 3.50 x 10.0	48.13 m <sup>3</sup>
型枠		3.50 x (1.005+1.077) x 10.0	72.87 m <sup>2</sup>
均しコンクリート	σck=18N/mm <sup>2</sup>	2.45 x 0.10 x 10.0	2.45 m <sup>3</sup>
同上型枠		0.10 x 2 x 10.0	2.00 m <sup>2</sup>
水抜きパイプ	VUφ100	10.0/4.0 x 1.99	4.98 m
吸出防止材	t=10mm	10.0/4.0 x 0.3 x 0.3	0.23 m <sup>2</sup>

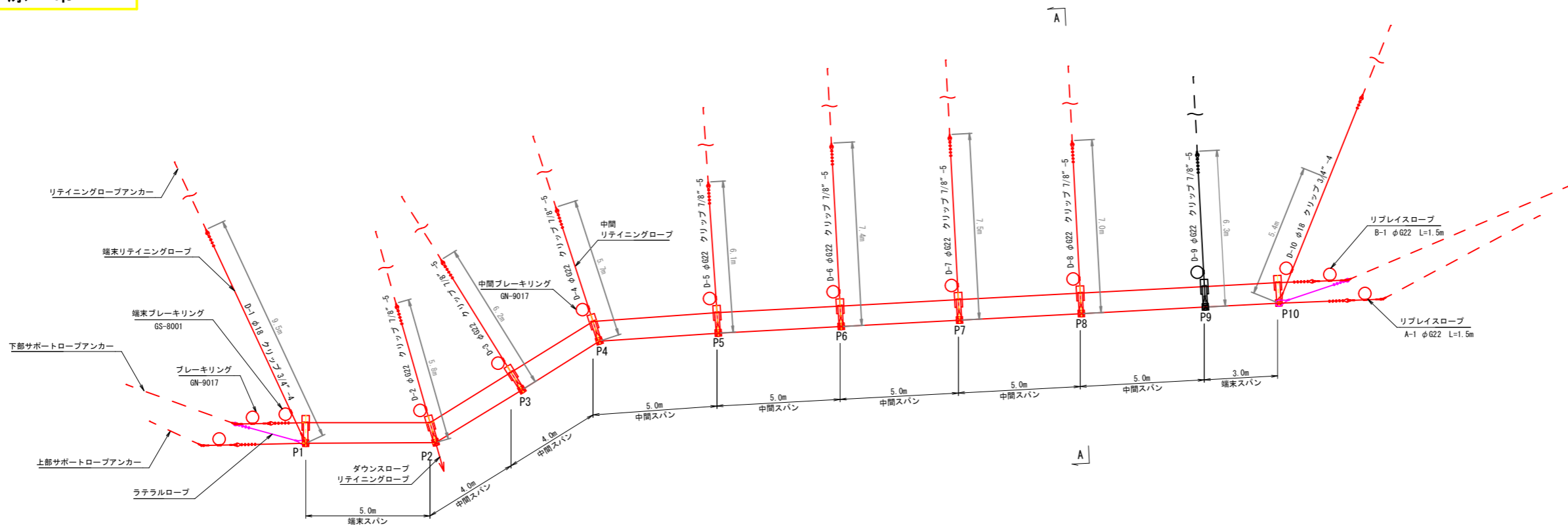
※ 施工にあたっては床付け面の地盤支持力を確認すること。

図面番号	2 / 6	縮尺	S=1:100
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	ネット系待受工構造図 1/2		
路線名	笹原地区		
工事箇所	三原市本郷町上北方		
	三原市		

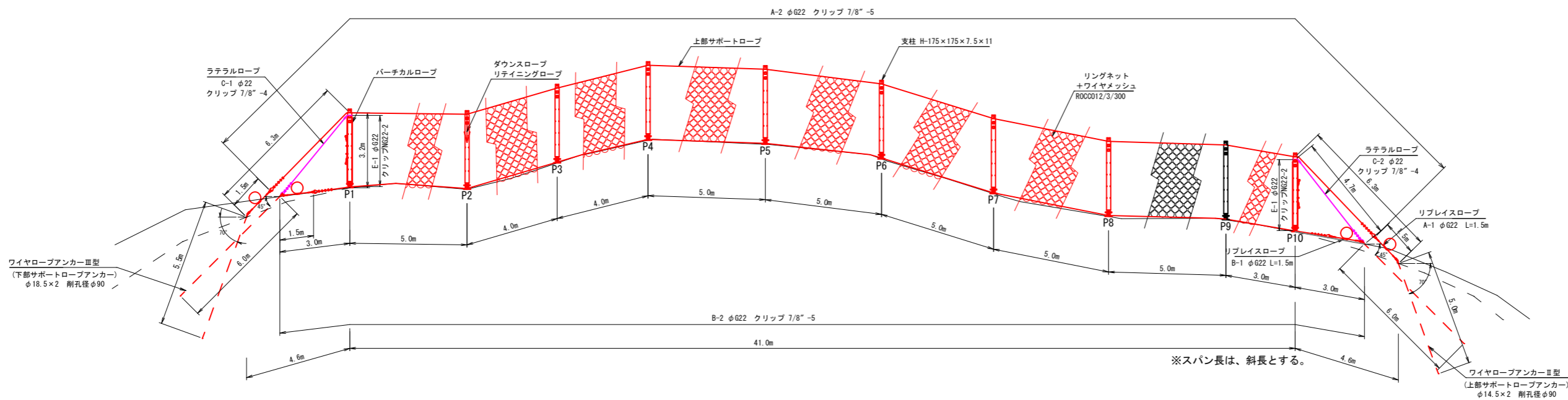
## ネット系待受工構造図(1/2)

### 延長41m

平面図 S=1/100

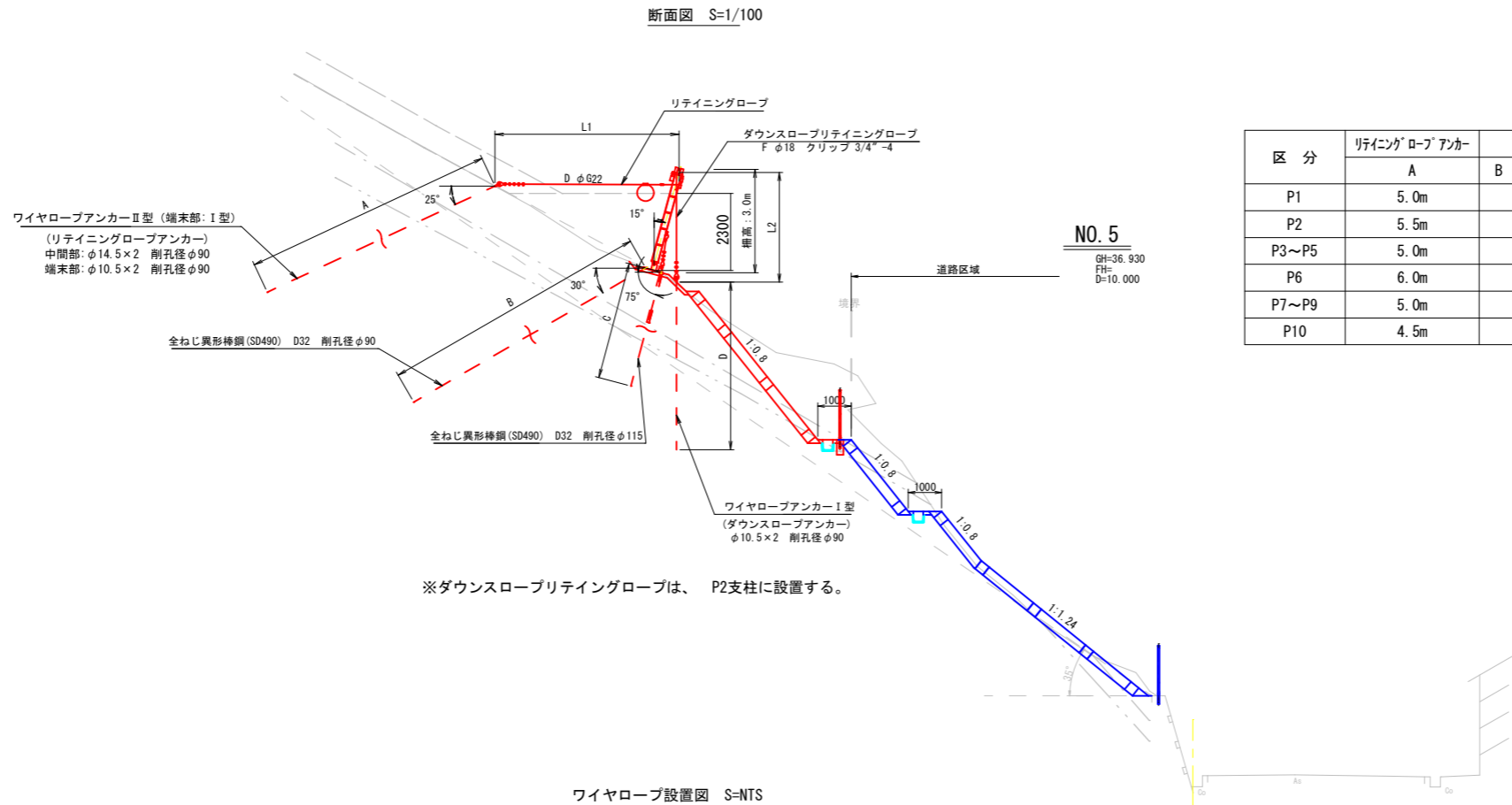


展開図 S=1/100



図面番号	3 / 6	縮尺	図 示
工 種	急傾斜地崩壊対策事業		
種 別	ネット系待受工構造図	部 数	2 / 2
路線名	笹原地区		
工事箇所	三原市本郷町上北方		
<b>三 原 市</b>			

## ネット系待受工構造図 (2/2)



区 分	支柱基礎反力体			ダウンスロープアンカー
	リテイニングロープアンカー A	B (山側)	C (谷側)	
P1	5.0m	4.0m	4.5m	-
P2	5.5m	5.0m	3.5m	4.0m (P2)
P3~P5	5.0m	4.5m	3.0m	-
P6	6.0m	5.5m	3.5m	-
P7~P9	5.0m	5.0m	3.5m	-
P10	4.5m	4.0m	4.5m	-

区 分	リテイニングロープ長 L1
D-1	9.5m
D-2	5.8m
D-3	6.2m
D-4	5.7m
D-5	6.1m
D-6	7.4m
D-7	7.5m
D-8	7.0m
D-9	6.3m
D-10	5.4m

区 分	ダウンスロープ リテイニングロープ長
	L2
F-1	3.2m

※ダウンスロープリテイニングロープは、P2支柱に設置する。

- A : 上部サポートロープ
- B : 下部サポートロープ
- C : ラテラルロープ
- D : リテイニングロープ
- E : パーチカルロープ
- F : ダウンスロープリテイニングロープ
- G : 支柱保持ロープ

※1) 本図は標準図面であり、当該地の地形状況に合わせ、施工時には各ワイヤロープ長を変更する場合があります。

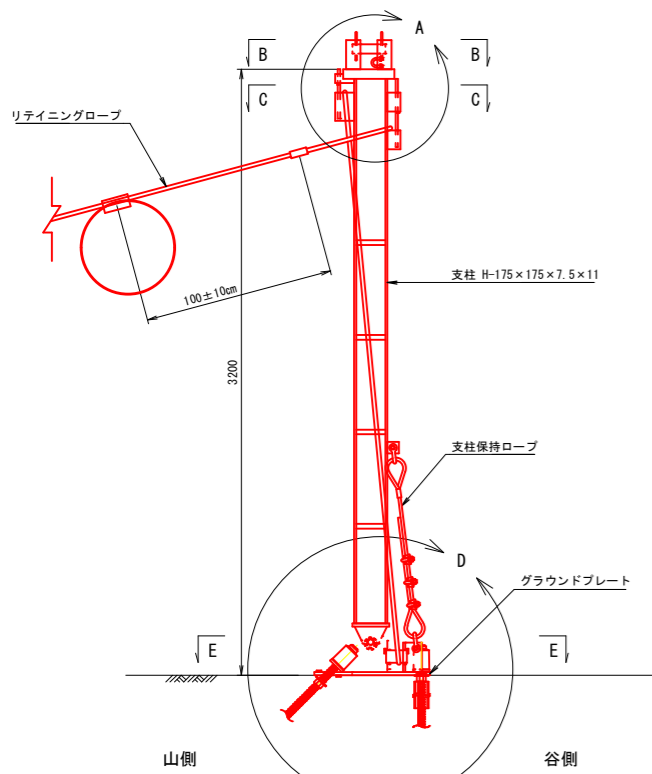
※2)  $\alpha$  はシャックル止めを示す。

※3)  $t$  はシンプル使用。

図面番号	4 / 6	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	ネット系待受工詳細図	縮尺	1/3
路線名	笹原地区		
工事箇所	三原市本郷町上北方		
<b>三原市</b>			

## ネット系待受工詳細図(1/3)

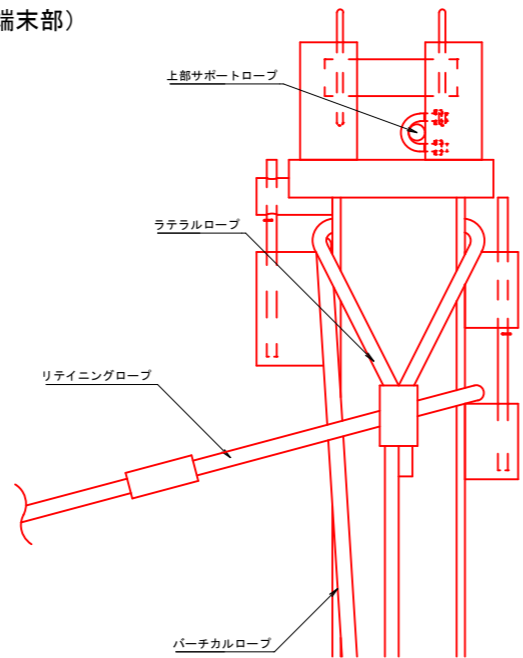
支柱全体図 S=1/20  
(H=3.0m)



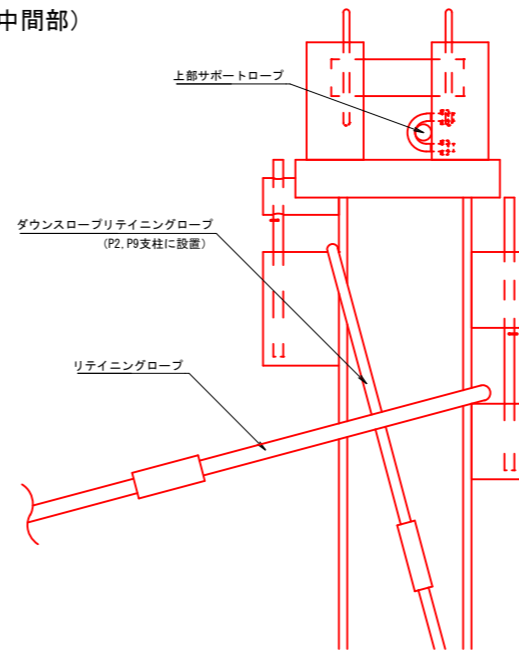
※ グラウンドプレート下部に於いては、地盤状況に応じて調整モルタルを打設する。  
※ 支柱保持ロープは、P1, P3~P8, P10に使用する。

A部詳細図 S=1/5

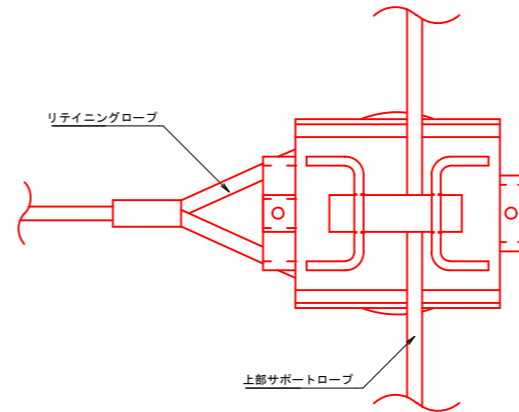
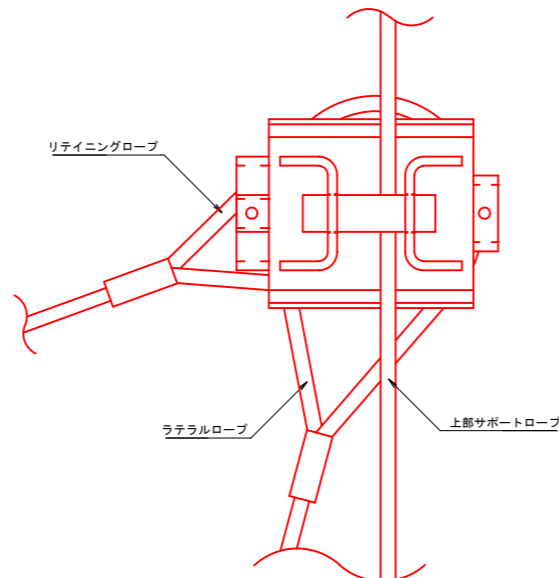
(端末部)



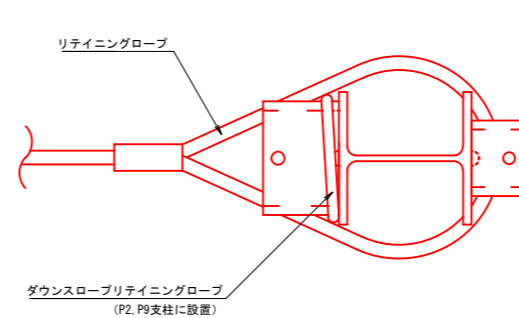
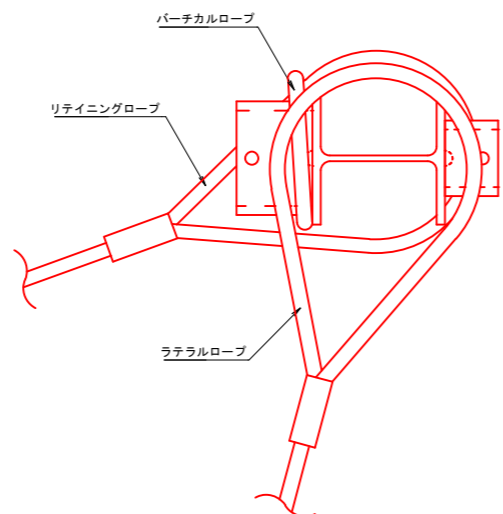
(中間部)



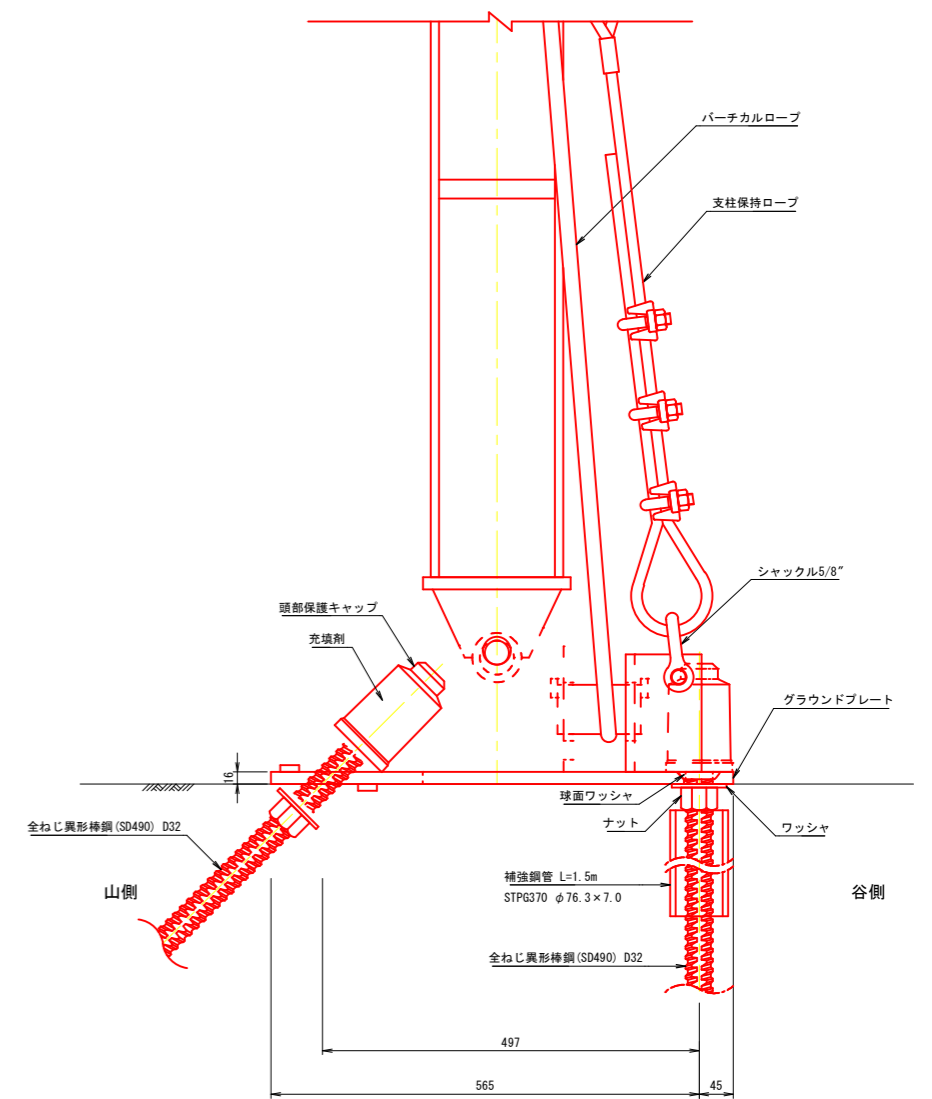
B-B平面図 S=1/5



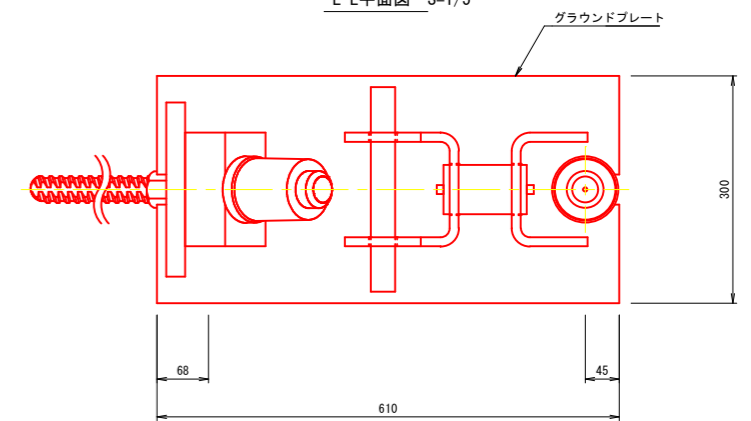
C-C平面図 S=1/5



D部詳細図 S=1/5



E-E平面図 S=1/5

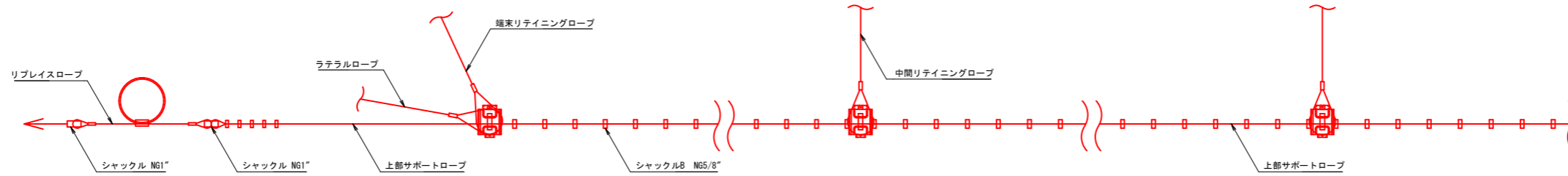


図面番号	5 / 6	縮尺	S=1:30
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	ネット系待受工詳細図 2/3		
路線名	笹原地区		
工事箇所	三原市本郷町上北方		
<b>三原市</b>			

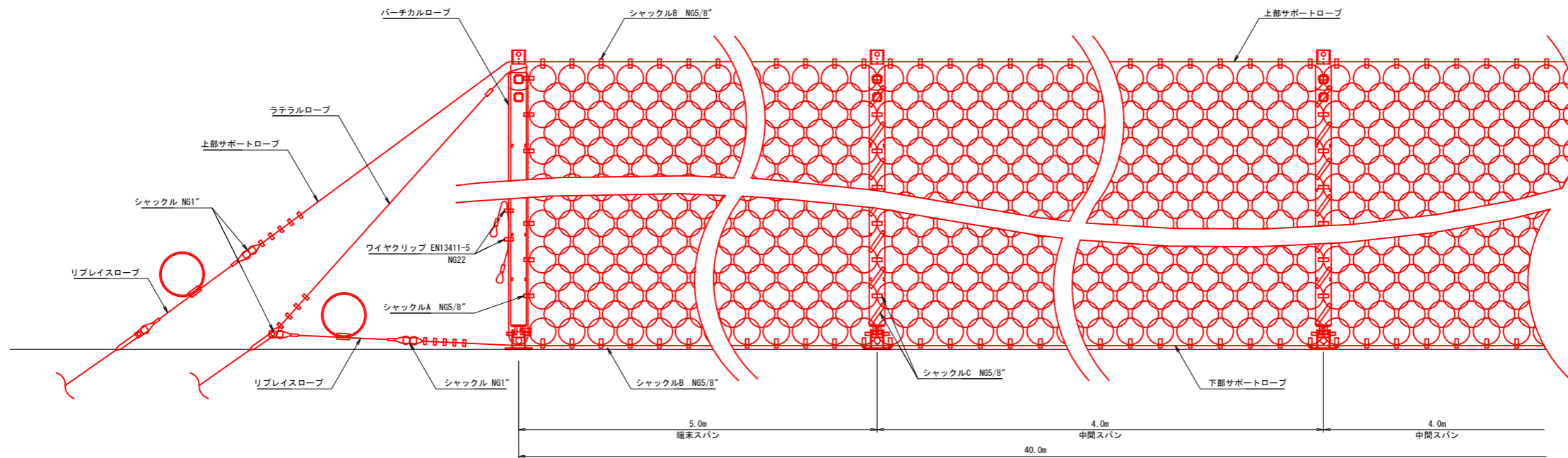
## ネット系待受工詳細図 (2/3)

リングネット取付詳細図 S=1/30

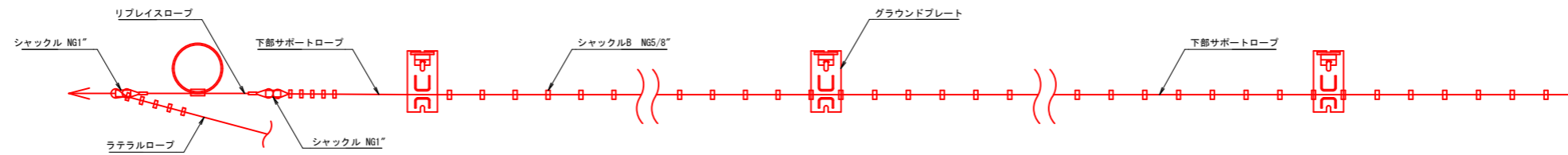
平面図  
(上部)



展開図



平面図  
(下部)



シヤックル取り付け個数 (ネット1枚当たり)

リングネット パネルサイズ (m×m)	シヤックル個数 (ヶ)		
	A	B	C
縦3.0×横3.0	8	18	15
縦3.0×横4.0	8	24	15
縦3.0×横5.0	8	30	15

※ A: パーチカルロープ連結用  
B: サポートロープ連結用  
C: リングネット連結用

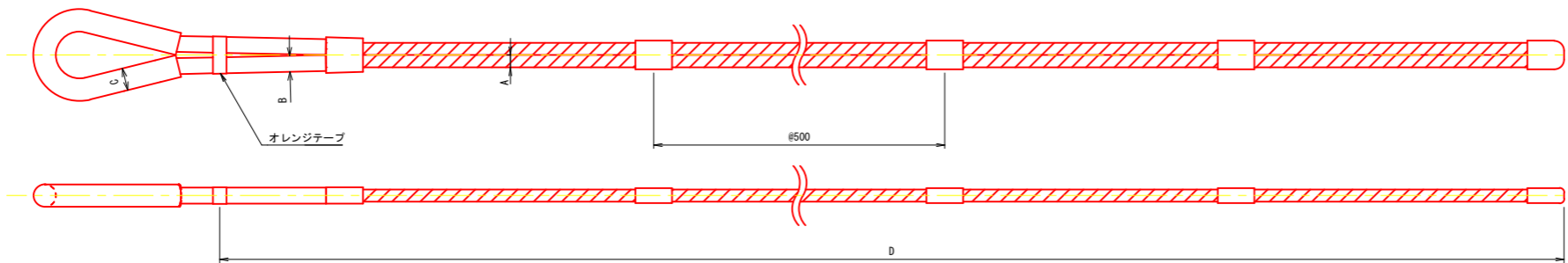
ワイヤクリップ取り付け (ロープ端部)

規格	ロープ径 (mm)	仕様	使用個数 (個/箇所)
FF-C-450	φ12	7/16"	3
	φ14	9/16"	3
	φ16	5/8"	3
	φ18	3/4"	4
	φ20	3/4"	4
	φ22	7/8"	4
	φ622	7/8"	5

図面番号	6 / 6	縮尺	図示
工種	急傾斜地崩壊対策事業		
種別	ネット系待受工詳細図	巻数	3 / 3
路線名	笹原地区		
工事箇所	三原市本郷町上北方		
<b>三原市</b>			

## ネット系待受工詳細図 (3/3)

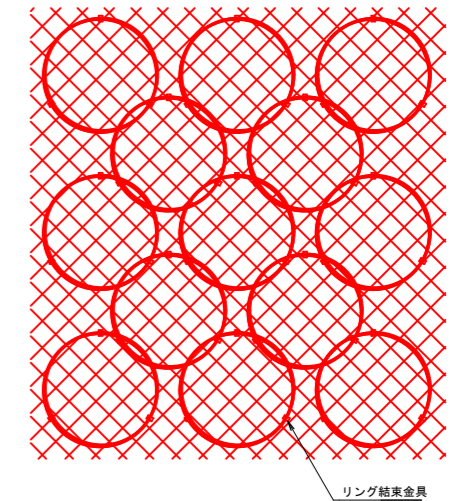
### ワイヤロープアンカー



アンカー種別		A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (m)
上部サポートロープアンカー	P1	14.5	20	26.9	5.5
	P10				5.0
下部サポートロープアンカー	P1	18.5	25	33.7	6.0
	P10				6.0
ダウンスロープアンカー	P2	10.5	14	21.3	6.0
端末部リテイニングロープアンカー	P1	10.5	14	21.3	5.0
	P10				4.5

アンカー種別		A (mm)	B (mm)	C (mm)	D (m)
中間部リテイニングロープアンカー	P2	14.5	20	26.9	5.5
	P3~P5				5.0
	P6				6.0
	P7~P9				5.0

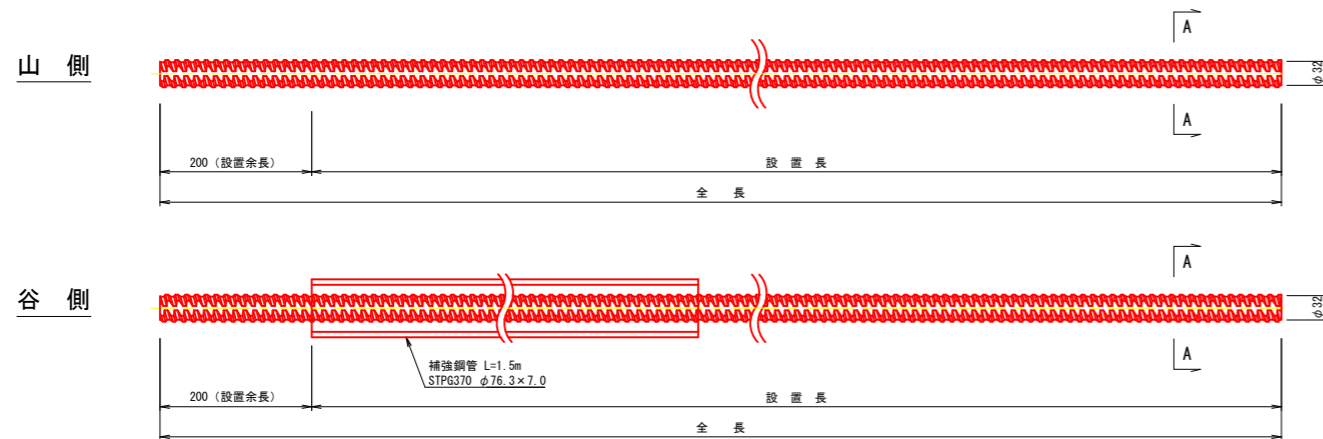
### リングネット・ワイヤメッシュ S=1/10



ネット形式	ROCCO 12/3/300
-------	----------------

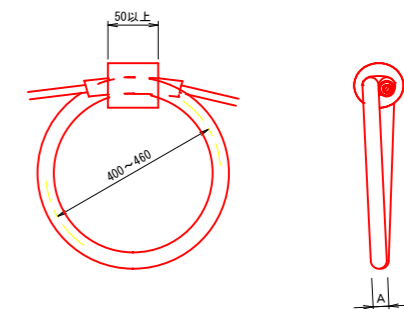
ワイヤメッシュ φ2.4×50  
 ワイヤメッシュ接続針金 L=120mm (接続箇所数: 8ヶ所/㎡)  
 凡例 ネット形式  
 ROCCO 12 / 3 / 300  
 線径  
 巻数

### 全ねじ異形棒鋼 (SD490) S=1/5



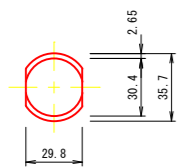
区分		設置余長 (m)	設置長 (m)	全長 (m)
P1	山側	0.2	4.0	4.2
	谷側	0.2	4.5	4.7
P2	山側	0.2	5.0	5.2
	谷側	0.2	3.5	3.7
P3~P5	山側	0.2	4.5	4.7
	谷側	0.2	3.0	3.2
P6	山側	0.2	5.5	5.7
	谷側	0.2	3.5	3.7
P7~P9	山側	0.2	5.0	5.2
	谷側	0.2	3.5	3.7
P10	山側	0.2	4.0	4.2
	谷側	0.2	4.5	4.7

### プレーキリング S=1/10

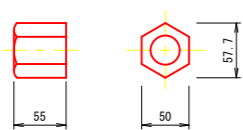


プレーキリング形式	対応ワイヤロープ径	A (mm)
GS-8001	φ16~18	33.7
GN-9017	φG22	42.4

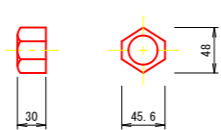
### A-A断面図 S=1/2



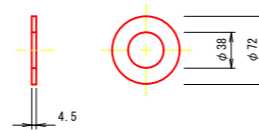
### ナット (上部) S=1/4 (垂鉛めっき品)



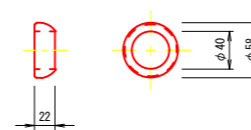
### ナット (下部) S=1/4 (垂鉛めっき品)



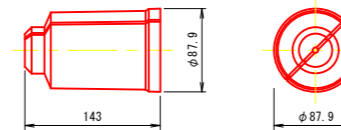
### ワッシャー S=1/4



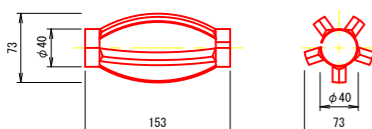
### 球面ワッシャー S=1/4 (垂鉛めっき品) 谷側



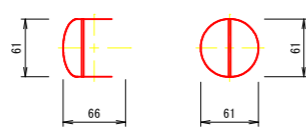
### 頭部保護キャップ S=1/4



### スペーサー S=1/4 全ねじ異形棒鋼用



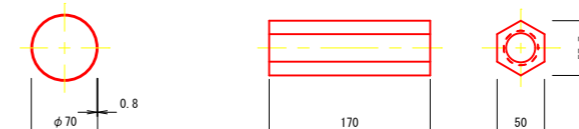
### スペーサー S=1/4 ワイヤロープアンカー用



### 孔壁保護管 S=1/4



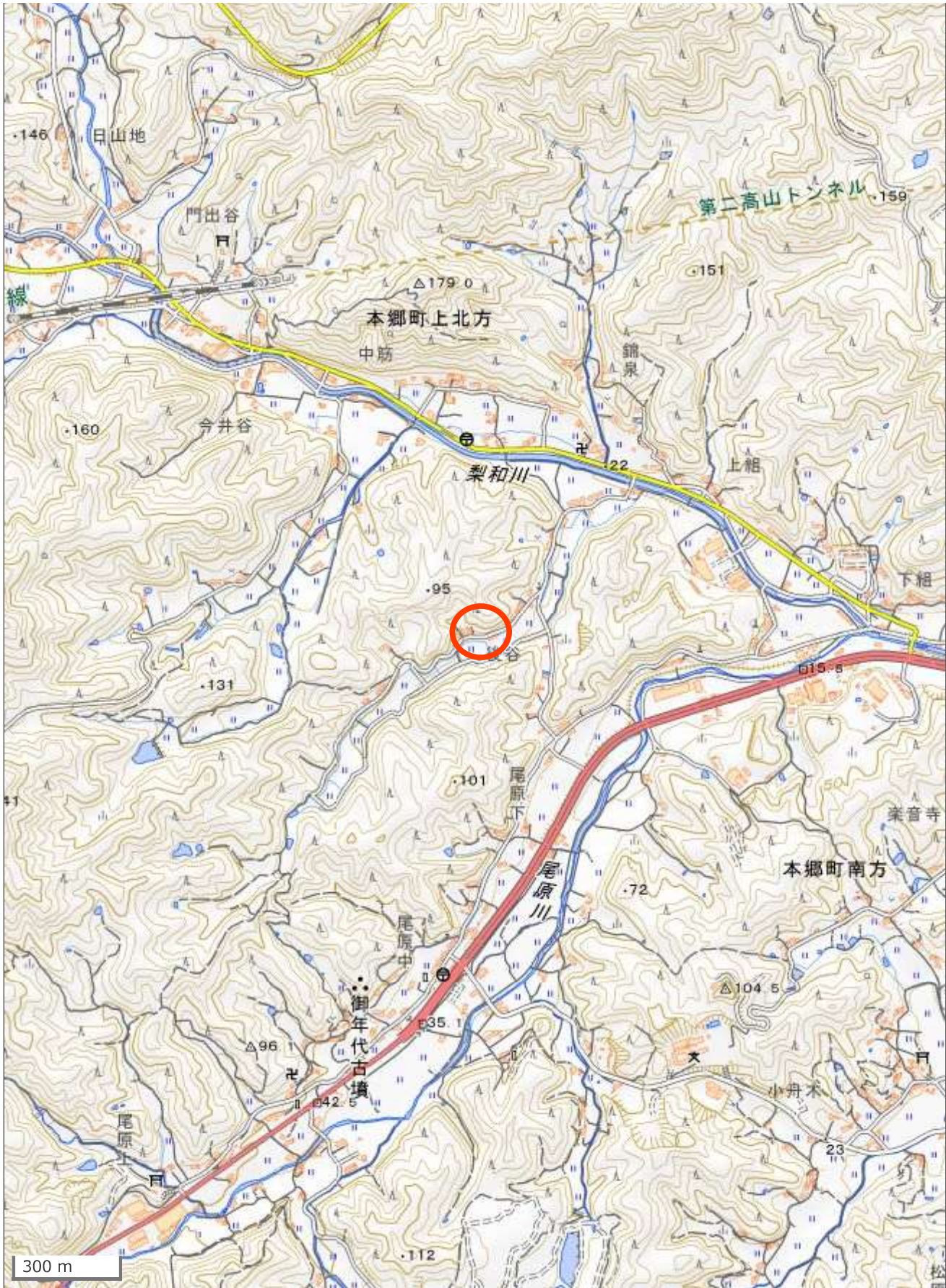
### カブラー S=1/4



※φ70

# 位置図

(34.406493, 132.950439)



この図は、国土地理院地図を使用したものである。